

自然と親しみ、交流と活力をうむ



新しい里山文化の創造

県立茅ヶ崎里山公園

平成 24 年度事業計画書



公益財団法人 神奈川県公園協会

平成24年度事業計画書（目次）

1 基本方針・経営計画

計画書1「施設の設置目的を踏まえた総合的な管理運営方針」	1
計画書2「本公園の管理に対する抱負、及び具体的な取組み」	5
計画書3「本公園における特性と課題を踏まえた維持管理」	7
<付属書類>	
年間維持管理計画表	

2 実施体制等

計画書4「執行体制の内容」	18
計画書5「緊急時の体制」	21
計画書6「人材の育成計画」	24
計画書7「諸規程の整備」	26
計画書8「公園の安全管理」	28
計画書9「利用者への対応」	31
計画書10「利用促進方策」	36
計画書11「地域や関係機関との連携」	49

計画書 1 「施設の設置目的を踏まえた総合的な管理運営方針」

茅ヶ崎里山公園は、現在の茅ヶ崎市周辺では希少になった、谷戸地形上に樹林地、田畑、湿地などの多様な環境からなる「里山」の自然が残る広域公園です。本公園の整備は、「自然と未来の織りなす豊かな未来環境を作る」ことを目指す『湘南みらいの里』をテーマとして、「茅ヶ崎里山公園協議会」などを通じ、県民参加によって進められています。

私たち公益財団法人神奈川県公園協会は、平成 18 年度から指定管理者として、里山環境の保全と利用のバランスを目指し、多様な主体と連携を取りながら、県民参加による管理運営に取り組んできました。

「自然環境保全方針」「維持管理方針」「運営方針」を踏まえ、県民の視点に立った上で、私たちは、これまで培ってきたノウハウを最大限に発揮して、県民とともに現代の里山を創造します。

(1) 当該公園の設置目的を踏まえた管理運営について

私たちが掲げる総合的な管理運営方針は、

自然と親しみ、交流と活力を生む

新しい里山文化の創造

管理運営のテーマは次の 3 本です

〈里山環境づくり〉

〈いっしょにつくる〉

〈豊かなパークライフの実現〉

自然とのやりとりによる
共生の創造

地域や人とつながる
交流の場づくり

あらゆる人と笑顔の
レクリエーション

茅ヶ崎里山公園の管理運営における主な取り組みは次のとおりです。

ア 〈里山環境づくり〉 自然とのやりとりによる共生の創造

自然に触れ活動することを通じて、
多様な生き物と共存する環境をつくります

- 生態系を踏まえた管理を行い、人と生き物の多様な環境を創ります
- 体験活動を通じて豊かな自然とふれあう喜びを体感します
- バイオマスの活用を計画的に行い、啓発します



茅ヶ崎里山公園倶楽部の活動

【平成 24 年度実施内容】

- ・ 外来植物の抜き取りや、昆虫の生息環境保全に配慮した草刈などを適期に行います。
(P8～14 参照)
- ・ 茅ヶ崎里山公園倶楽部の活動を事務局として推進します。
(P39,45 参照)
- ・ 間伐材等はチップボイラー燃料等へ、また、刈り草や剪定枝等は堆肥へ活用し、その状況を展示等で紹介し啓発します。
(P10～11 参照)

イ〈いっしょにつくる〉地域や人とつながる交流の場づくり

これまでの参加型の経緯を踏まえて、
みんなの財産となる公園をつくります

- 活用する人、汗をかく人の思いを受けとめて**取り組む仕組み**を創ります
- 県民の力、専門家の知恵を交換する機会を**コーディネート**します
- **学校教育、地域づくりと連携し、郷土愛を醸成**します



パークセンターでの
芹沢腰掛神社祭囃子演奏

【平成 24 年度実施内容】

- ・ 「持ち込みイベント」の募集・実施の仕組みにより、県民提案によるイベントを積極的に開催します。(P47 参照)
- ・ 「茅ヶ崎里山公園地域連絡協議会」などの地域団体と連携し、季節のイベント等を開催します。(P38 参照)
- ・ 園内の里山環境等を活用し、地元小中学校の総合学習等へ協力します。
より多くの県民の皆様と自然を保全する活動を展開していきます。(P7 参照)
(県民参加型の生物モニタリング活動、自然セルフガイドシステムの活用)
- ・ 「茅ヶ崎里山公園運営会議」の運営。(P51 参照)
- ・ 平成 24 年度に開園予定である畑の村エリアを PR するため、イベントの実施や誘致、拠点施設での展示、花で修景する畑管理等を行う。また、それら行事等を地域の方等と協働することにより、同エリアの管理運営についての意見交換の場をつくる準備を進める。(P42～46 参照)

ウ〈豊かなパークライフの実現〉あらゆる人と笑顔のレクリエーション

安全安心・快適な施設管理によって、
たくさんの幸せをつくります

- 爽快な芝生、美しい花畑、陽光を浴びた**植物とのすてきな出会いの場**を提供します
- わくわく、ドキドキの**遊び心を受け止める楽しみの場**を提供します
- 作りたい、交歓したいという**活力を展開する施設運営**を行います



風の広場と里山風景

【平成 24 年度実施内容】

- ・ 安全・安心・快適な、施設の管理運営や植物管理を行います(計画書 3・8・10 参照)
- ・ パークセンターの利用者サービスを向上するため、立ち寄りたくなる雰囲気づくりを行います。(P41 参照)
- ・ 平成 24 年度新規開園する畑の村と丘の村、森の村の一部等の維持管理を計画書に基づき適正に実施します。(P18 参照)

(2) 利用者の平等な利用の確保について

ア 平等利用確保の考え方

法や条例、規則等を守り、市民利用を拒みません

県立都市公園は、都市公園法に基づく「公の施設」であるため、指定管理者は県の代行者として、常に平等かつ公平・公正な取り扱いによる快適な施設運営を行う責務があります。

そこで私たちは、当公園の管理運営にあたっては、地方自治法第244条第2項、第3項の主旨に則り、正当な理由のない限り、市民利用を拒まないこと及び特定の個人、団体を優先することの無いようにすることを徹底し、子どもから成人・高齢者・障害者等がそれぞれの目的で、公園利用を楽しむことのできる管理運営を行います。

また、当公園では、バリアフリーの対応や職員の人権・接遇教育など、平等利用のあり方について常に検討し、職員教育を行います。

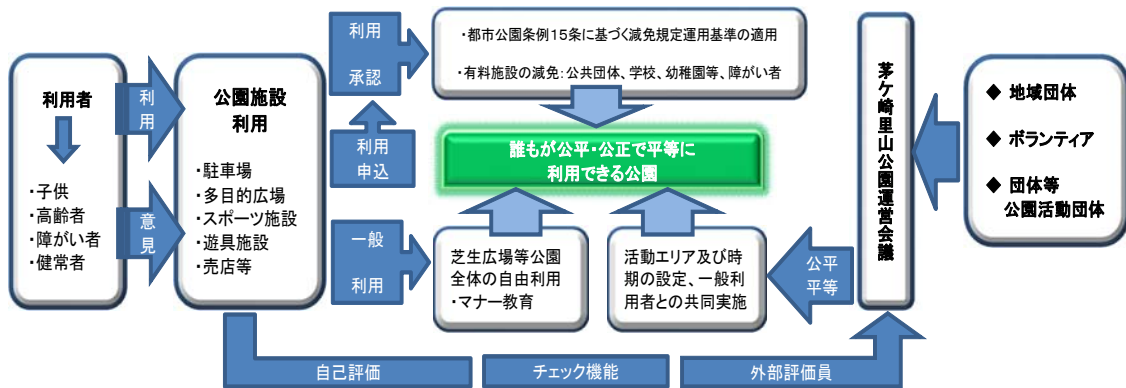
イ 平等利用に向けた取り組み

公平・公正で平等な利用を促進します

公園には、子供から高齢者、障害者等多くの利用者や地域団体やボランティア団体等、活動する方々など、多様な人たちが利用されます。

このため私たちは、園内利用、窓口業務、施設の利用承認、有料施設の受付、施設・設備の貸出等、また、苦情や意見、要望等への対応など、あらゆる場面において、常に公平・公正で平等に対応できるよう職員教育を行い、相手の尊厳を最大限尊重し親切丁寧な対応を行います。

【平等利用の流れ】



(3) 利用者や地域住民等に配慮した管理運営について

管理運営実績を積んできた私たち公益法人であればこそ、「公の施設としてのあるべき姿」に照らしながら利用者や地域住民等に配慮した管理運営に取り組むことができます。

ア 県民や地域住民等の意見を反映した公園づくりに取り組みます

- ・ 御意見箱の設置やインターネットのWEB投稿、利用者アンケート等を活用して市民ニーズや地域住民の意向、要望、提案などを掌握して、管理運営のあり方を見出して業務改善に反映させていきます。
- ・ 「茅ヶ崎里山公園協議会(平成14年8月設置)」において、市民と管理者がテーブルを囲んで管理運営の可能性と課題を検討してきました。今年度は県等と調整を図りながら、「茅ヶ崎里山公園運営会議(仮称)」を立ち上げ運営し、県民参加による公園づくりを推進していきます。

イ 地域に的確な情報を発信し、誰からも信頼され愛される公園として管理運営を行います

- ・ 公園利用者に信頼され、地域の誇りとなるよう、施設の維持管理を的確に行い、利用者が安全で快適に利用できる環境を整えます。
- ・ パークセンターや谷の家の展示により、公園の自然情報やイベント情報をタイムリーに発信します。
- ・ 今後も自然環境の魅力やレクリエーションの場としての楽しみ方など、広報宣伝を積極的に行い、一層の利用促進を図ります。

ウ 地域と連携し、確実な防災管理を行います

- ・ 日頃から、地震等の災害を想定し、地元茅ヶ崎市や所轄消防署等と協議や訓練を重ね、発災時には、迅速な利用者の安全確保と適切な避難誘導ができるよう準備を整え、市民の信頼を高めます。
- ・ 災害の発生後には、地域住民ならびに利用者が不快を感じることなく、安全で快適に利用できるように速やかに復旧措置を講じて、安全確認の後に早期の利用再開に努めます。

(4) 環境に配慮した管理運営について

環境保全型行政に率先して取り組む県の環境方針を踏まえ、



本公園では環境への配慮と工夫に継続して取り組みます。

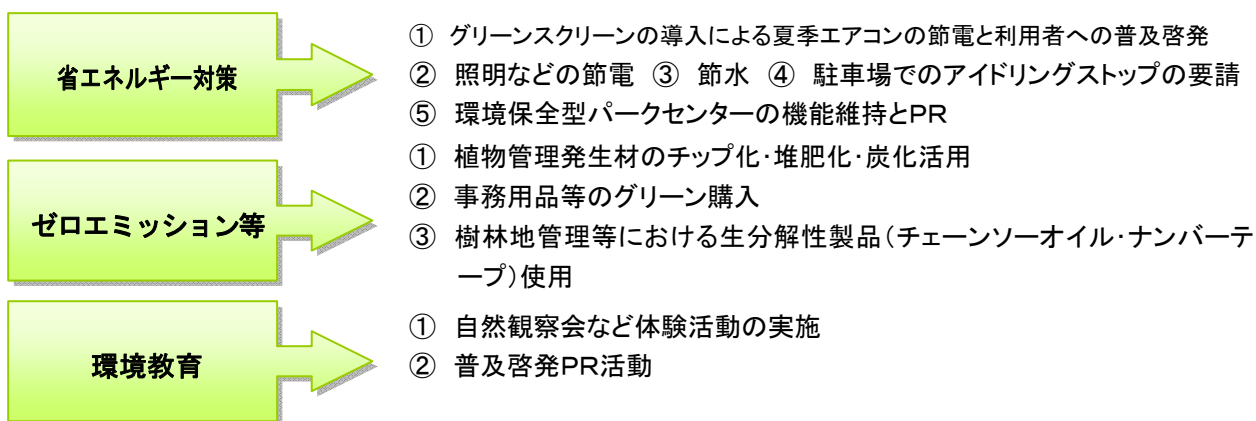
ア 利用者への環境配慮の伝達と管理運営に係る環境保全の必要性

本公園は、湘南地域の里山として残された貴重な自然の宝庫であり、市民がみどりに親しむきっかけを提供しています。

公園利用者には、茅ヶ崎里山公園のみどりが清浄な空気を生み、都市気象の緩和や生物の生息環境の提供など、私たちの豊かな生活環境に大きく貢献していることを伝えます。

そして身近な茅ヶ崎里山公園の生態系の保全を通して「管理運営のあらゆる活動で環境への配慮を行う必要性」を訴えていきます。

イ 具体的な環境保全の取組み



など、環境負荷の低減に努めており、環境教育に寄与する活動にも取り組んでいます。今後も、環境配慮の視点で定期的に管理運営を見直し、必要な改善を図りながら環境にやさしい取り組みの努力を継続していきます。

計画書2「本公園の管理に対する抱負、および具体的な取り組み」

(1) ノウハウを活かす取組み

私たちは、本公園の県民協働活動のサポートや、これまでの公益的な取組みを通して築いたノウハウとそれらを活かす取組みは以下の通りです。

私たちの築いてきたノウハウ

- ① 「公(おおやけ)の心」を育み誰からも愛される公園づくり
- ② かながわへの郷土愛を醸成し新しい喜びを展開する公園づくり
- ③ 人と地域とともに育つ公園づくり
- ④ 自然と共生し多様な生物が育む循環型の公園づくり



本公園の管理運営で活かす提案

- 誰もが安全・安心に、そして公平・平等に利用することのできる公園をつくります
- 公園づくりに「誰よりも地域そして神奈川を愛する心」を注ぎます
- 公園で活動する様々な市民団体との意見交換、連携の場である「茅ヶ崎里山公園運営会議(仮称)」でのコーディネートを行い、公園での円滑な利活用を実現します。
(平成24年度に立ち上げます)
- 里山から遊具のある広場までを備えて子どもから高齢者まで利用される多様な表情を大切にします。
- 高い社会的信頼性という宝物をもって地域と協働して元気の出る公園づくりを行います。
- 本公園の自然体感の環境プログラムづくりのほか広域公園としての多機能性を実現します。
- 里山公園としての特徴と可能性を読み解き、付加価値の高い公益サービスを提供します。

(2) 具体的な取組み (平成24年度実施内容)

公益財団法人としての使命を担う私たちは、「自然と親しみ交流と活力をうむ里山文化の創造」を目指して管理運営を行い、県民の健康で豊かな生活の推進に貢献いたします。

本公園の管理運営にあたっては、指定管理者としてのこれまでの取組みとノウハウを活かしますが、その中から、下記の提案を例示します。

●里山 / ●参加型 / ●公共の福祉

ア 里山保全を県民参加で推進する ●● (継続・ノウハウ発揮) 参加型里山づくり

私たちは、本公園の里山環境の保全活動等のために立ち上げられたボランティア組織「茅ヶ崎里山公園倶楽部」の事務局を、平成17年の立ち上げ当初から務めてきました。

これまでに築いてきた相互の信頼関係や、常に改善し続けてきた連携体制のもと、今後も同倶楽部の円滑な運営を行います。

イ 「素敵な緑陰の提供」と「バイオマスの活用」 ●● (継続・ノウハウ発揮) 樹林地管理・活用、普及啓発

樹林地管理は、今後も、私たちによる「樹林地管理5カ年計画」や、その上位計画として県が策定した「茅ヶ崎里山公園里山保全管理計画」をもとに、より範囲を広げて行います。あわせて、樹林地管理により発生するバイオマスは計画的にチップボイラーの燃料として有効活用し、地球温暖化対策とするとともに普及啓発を行います。

ウ 「竹林管理5カ年計画」から「竹馬遊び」への展開 ● (継続) 竹林管理と里山文化の普及

竹林管理を継続するとともに、谷の家を中心に、竹林管理の発生材を用いて竹馬や竹ぼっくりなどを来園者へ提供し、自然素材で遊ぶ楽しさをきっかけに、里山文化を広げます。

エ 「環境学習活動サポート体制」の充実 ●● 〈継続・発展〉

環境についての普及啓発

本公園において、ますます要望が増えている総合学習等に対応するため、職員向けの「園内解説マニュアル」を用いた研修を行うほか、来園者のための「園内のセルフガイドマップ」等を充実させ、環境学習を希望する来園者がいつ来ても満足いただけるサポート体制を整えます。

オ 「県民提案イベント」の積極的な開催 ●● 〈継続〉

参加型で交流と活力を創造

今後も、平成 20 年度に制定した「茅ヶ崎里山公園持ち込みイベント実施要領」に基づき、パークセンター、谷の家などで、県民提案のイベントの開催を積極的に支援していきます。



ア 「茅ヶ崎里山公園倶楽部」の活動 ウ パークセンター前の「竹馬遊び」 オ 県民提案イベントの開催イメージ

カ 平成 24 年度拡大区域の対応 ●●● 〈新規〉

平成 24 年度 4 月から既設公園区域より拡大するエリアの維持管理、運営管理を行います。広がる区域は、森の村、丘の村の一部とその周辺樹林、畑の村（一部未買収地有）、西駐車場北西部分となります。

- 丘の村内の桜の小路、子供の森（既存開園区域）、夕映えの丘（新規開園）においては、パークセンターでの展示、公園ホームページでの紹介等を行い、施設の PR を行います。また計画的な植物管理、施設管理等を行い快適な利用空間の確保を行います。
- 畑の村エリア（北部エリア）については、「農と食により地域活性化を図るゾーン」というコンセプトが設定されていることから、それに向けた取り組みを進めていきます。本エリア開園初年度であり、かつこれまで北部エリアには来園者があまり訪れなかったことから、平成 24 年度はまずこのエリアを広く県民のみなさまに周知する期間として位置付け、行事等各種活動を展開していきます。また、各種行事等を行いつつ、地域の方々や関係者と本エリア管理運営に関する意見交換を行っていきます。

これらをもって、私たちは、 ●自然とのやりとりによる共生の創造
 ●地域や人とつながる参加型公園づくり
 ●あらゆる人と笑顔のレクリエーション に取り組み
 自然と親しみ、交流と活力を生む **新しい里山文化を創造します**

計画書3 「本公園における特性と課題を踏まえた維持管理の考え方」

本公園は、茅ヶ崎市周辺では希少になった谷戸地形上の里山環境が残る一方、様々なレクリエーションが楽しめるオープンスペースや遊具等も備えます。
 里山環境は、自然の豊かさを象徴する猛禽類をはじめ、多様な生物が生息するとともに、田んぼ・畑・雑木林でのボランティア活動も盛んです。この里山環境の保全活用をはじめ、本公園の整備は、「茅ヶ崎里山公園協議会」などとおし、県民参加によってすすめられています。
 こうした特性を踏まえて正確に課題を捉え、的確な維持管理を行います。

(1) 当該公園の特性と課題

ア 本公園の特性と課題

(ア) ゾーン別

本公園の立地条件や整備内容などをふまえ、ゾーンごとの特性と課題を以下に示します。

■茅ヶ崎里山公園の施設配置とゾーン特性

畑の村
●農と食により地域活性化を図るゾーン
●昔ながらの畑の景観の維持、地域の景観のつながりを継承

丘の村
●のんびりと丘や里山景観を楽しむ場

谷の村 (里山保全エリア)

- 谷戸の上部側から順に、落葉樹植林、畑、湿地や田んぼが分布し、谷戸低地には湿地に特有の多様な生物が生息します
- 自然に触れる様々な活動が行われる場です



自然観察



田んぼづくり



散策

森の村

- 「子供の村」に隣接する樹林地です
- 「保全型活用」の「公園モデル林」があります



山頂の村

- メインエントランス・パークセンターがあります
- 来園者をもてなす公園の「玄関口」です



子供の村

- 芝生広場や遊具などがあります
- 多様なレクリエーションの拠点です



■ゾーンごとの現況特性と課題

ゾーン	特性	課題
谷の村	開園を記念して植林された平成の森が成長して過密化しています	①平成の森の適正管理
	草地は、昆虫類などの観察ができますが、セイタカアワダチソウ、アレチウリ等の侵略的外来生物も生育しています	②外来種対策
	ヨシ・オギの生える湿地には、昆虫類・鳥類・カエル類などの多様な生物が生息しますが、ウシガエル等の外来生物も混在しています	
森の村	樹林地は、過密化し、林床も暗い林分が多くなっています	③樹林地の適正管理
	竹林が拡大して、他の植生に進入しています	④竹林の適正管理
	絶滅危惧種の猛禽類や野草が生息・生育しています	⑤絶滅危惧種の保全方法の確立
	「子どもの村」と隣接し、緑陰としての利用要望があります	⑥樹林地の活用型保全
	県民参加で里山林の再生を実証して発生材をチップボイラーの燃料等に活用していく「公園モデル林」があります	⑦樹林地管理と発生材の活用と普及啓発
山頂の村	メインエントランスや、公園の管理運営と利用者サービスの拠点となるパークセンターなどがあり、多くの人が行き交います	⑨利用者サービスの維持向上や公園の顔としての魅力の向上
子供の村	大型遊具、ジャブジャブ池は子ども達に大変人気が高く、多くの人で賑います	⑩安全快適な施設利用の提供
丘の村	疎林広場等、ゆったりとした散策利用、自然観察等の利用があります。	〃
畑の村	活動の拠点施設を中心に、畑、デイキャンプ場（予定）等、農と食を楽しめる場となる。	⑨利用者サービスの維持向上や公園の顔としての魅力の向上

また、個別の課題に対する対応の考え方は以下のとおりです。

■課題ごとの対応の考え方

課題	課題への対応の考え方	総合的な維持管理方針※との対応		
		a	b	c
①平成の森の管理	県民参加で間伐や下刈りを実施します	●		
②外来種対策	種の生態に応じた外来種の除去を「順応的管理」により実施します	●		
③樹林地の適正管理	林分特性に応じた樹林地管理を実施します	●		
④竹林の適正管理	林分特性に応じた竹林管理を実施します	●		
⑤絶滅危惧種の保全方法の確立	多様な主体と連携して、ゾーニング・保全ルールを確立します	●		
⑥樹林地の活用型保全	私たちが策定した「樹林地管理5カ年計画」と、県民参加による検討をもとに、「順応的管理」を推進します	●		
⑦樹林地管理と発生材の活用・普及啓発	樹林地管理と発生材の循環利用と普及啓発に積極的に取り組みます	●		
⑧生態系の保全・活用	多様な主体と連携して、「順応的管理」の実施体制を構築します		●	
⑨来園者の快適利用とサービスの維持向上	パークセンターなどの清掃を徹底するとともに、利用者サービスの向上を図ります			●
⑩安全快適な施設利用の確保	大型遊具等の安全管理やジャブジャブ池などの清掃等を適正に実施します また、適切な園地管理による快適な利用の提供			●

※p10 参照

(イ) 全体

本公園全体としては、**里山的環境**（谷の村・森の村、里山保全エリア）と**都市的環境**（山頂の村・子供の村）をあわせ持つことと、公園づくりが**県民参加**により進められている点が特徴的です。

里山的環境には、樹林地、田畑、湿地等の多様な環境が分布し、里山保全活動体験、自然観察、野鳥の写真撮影等、**自然に親しむ様々な活動**が行われています。**県民参加による里山づくり**のための「**取組み体制づくり**」「**目標イメージの緩やかな共有化**」が課題であり、特に**指定管理者**にとっては「**そのコーディネート機能の発揮**」が課題です。

都市的環境には、多くの親子連れなどが集まる大型遊具、芝生広場、環境共生型パークセンター等があり「**信頼される施設管理と満足度の向上**」が課題です。

そして、「**里山的環境と都市的環境の相乗効果の発揮**」が課題です。

イ 特性と課題をふまえた維持管理の考え方

これらをふまえ、以下の3点を

本公園の特性と課題をふまえた、「総合的な維持管理方針」として

維持管理に取り組みます。

- a 里山生態系の保全・活用に対応した維持管理を行います（谷の村・森の村）
- b 県民参加による里山づくりのコーディネートの体制を構築します
- c 信頼される維持管理と満足度の向上を図ります

なお、維持管理に当たっては、特性と課題をふまえ、適時、モニタリングを実施し、より効率的効果的な管理運営を行うため、経費縮減を図り、適切かつ確実な維持管理を継続して行います。

経費縮減・効率化の取組み

- 委託対象の管理業務の集約発注による経費節減
- 公募型提案方式による業者選定
- 直営化による経費節減
- 本部によるリース機器や物品の一括リースや購入

(2) 公園の特性と課題を踏まえた現在の管理水準以上の具体的な計画

以上をふまえ、私たちは、維持管理において、**維持管理基準を超えて取り組む「管理重点項目」**を下記のとおり計画します。

ア 里山生態系の保全・活用に対応した維持管理

(ア) 樹林地管理から発生材の循環利用の取組み

私たちは、「**地球温暖化防止や生物多様性の持続のため、樹林地管理を確実に行うとともに、発生材をチップボイラーの燃料利用として計画的かつ優先的に活用し、普及啓発**」します

〈樹林地調査・管理計画〉

私たちによる「**樹林地管理5ヵ年計画**」と、その上位計画として県が策定した「**茅ヶ崎里山公園里山保全管理計画**」を踏まえ、**県民参加**によって、当年度の実施計画づくりや調査を行います。

〈管理の実施〉

県民参加による検討を加えながら、「順応的管理」を行います。

〈発生材の利用と普及啓発〉

今後も、樹林地管理の発生材は、チップボイラーの燃料とするチップのほか、「里山クラフト教室」の素材など、園内で積極的に活用します。

※平日など人が少ない際には、ペレットストーブによる部分暖房を実施します。



「樹林地管理」から「チップボイラー暖房」の利用まで

- ① 樹林地の調査をして伐る木・残す木を決める
- ② 木を伐り出す(樹林地管理)
- ③「チップパー」で木材をチップにする
出上がったチップ
- ④ チップを乾燥させて水分を測定する
含水率50%以下でOK!
- ⑤ チップをサイロ(燃料庫)へ入れる
- ⑥ チップボイラーでチップを燃やして温水をつくる
- ⑦ 温水で温めた空気をパークセンター内へ送る

「樹林地管理」と「発生材の燃料利用」の計画

今年度(H19年度)の実施内容

昨年の管理で発生した木材のチップをチップボイラー暖房の燃料として利用
ニセアカシア林
《生物多様性を低める外来種を除去し、林相転換する管理を実施》

樹林地管理を実施し、来年度以降に燃料とするチップを生産
針葉樹・常緑広葉樹混交林 (林の面積:約3,000㎡)
《明るい里山景観をつくるため、スギやアカガシなどの伐採・萌芽更新を実施》 (材の総量:約50m³)

今後も、樹林地管理とチップの利用を計画的に進めていきます。

間伐を**3200㎡/年**実施すると、約**19m³**の材が発生し、チップの生産量は、約**30m³**。^{※1}
1日0.8m³のチップを使用するので^{※2}、**37日間**、チップボイラーを使用できる(12月~3月の土日祝日は約37日)。
37日間、石油に替えてチップボイラー暖房を使用することで、約**4.6t/年**のCO₂排出を削減できる。^{※3}

※1 林内での木材産出量300㎥/ha、間伐率20%、チップとしての利用率90%、チップ化によるCO₂削減率2.6倍と仮定。
 ※2 日あたりの稼働時間8時間、ボイラー稼働率75%を想定。
 ※3 石油ボイラーを使用して同等のエネルギーを得るためには約1.655Lの石油(A重油)が必要。これに、A重油のCO₂換算係数2.77kg/Lをかけて算出。

樹林地管理と発生材の循環利用について、パークセンターで普及啓発を展示

(イ) 草地管理

※区域拡大に伴い増強

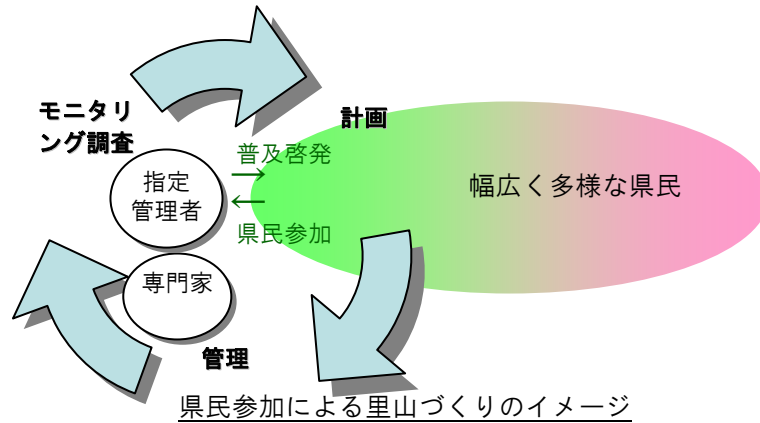
私たちは、これまで、園内で生物調査をしてきた市民団体や個人と意見交換し、園内の草刈などについて、生き物の生息環境に配慮した手法(時期・刈高・部分刈りなど)を実践してきました。今後も、このような管理を継続していきます。

イ 県民参加による里山づくりのコーディネート

※区域拡大に伴い増強

私たちは、本公園の県民参加による里山づくりは、『里山』が多様な生き物が暮らす豊かな環境であるように、幅広く多様な県民が、心豊かな暮らしの一部として参加できること」が重要と考えます。

私たちは、このような目標のもと、「茅ヶ崎里山公園運営会議」を立ち上げ、県や県民と調整を図りながら、「県民参加による里山づくり」に取り組みます。



ウ 信頼される維持管理と満足度の向上

私たちは、信頼される維持管理と満足度の向上のため、以下の項目について、維持管理基準以上の取組みを行います。

- ア) パークセンター床清掃：回数を1回/2日から1回/1日へ増やします
- イ) 中の谷池定期清掃：回数を増やすとともに効率化します
- ウ) 花畑管理：維持管理基準にない私たちの提案項目です（別表1）

別表1 花畑管理計画

		凡例														
		∴種まき	* 菜の花の花期	* ソバの花期	* ヒマワリの花期	* コスモスの花期										
場所	場所の特徴	方針	方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① 波の花壇背面	メインエントランスや、公園まつり等の開催地に近く、最も人の目に触れる場所	・早春～鯉のぼり掲揚期まで 菜の花 を咲かせるよう、二期に分け、播種する。	一期：後側(大きいヒマワリの跡地) 二期：手前側(コスモスの跡地)	***	*					∴一期				***	**	
		・夏に、 ヒマワリ(後ろ側：ロシアヒマワリ、手前側：低茎分枝型) を咲かせる。	点蒔または育苗・植付			∴∴(花まで60日)	***	***								
		・レインボーにあわせ コスモス を咲かせる。	手前側(小さいヒマワリの跡地)						∴(花まで70日)	***	***	刈取				
② 里の丘花畑	散策利用が多い場所(周辺一帯の名所めぐりなど)	・早春を中心に 菜の花(早生) を咲かせる。	うすく筋蒔き	***							∴			***	***	
		・菜の花とコスモスの間を埋める景観植物として、初夏に、 ソバ を咲かせる。	うすく筋蒔き		∴	***										
		・秋の行楽シーズン・彼岸花の花期にあわせ コスモス を咲かせる。	うすく筋蒔き						∴(花まで70日)	**	**					
③ 中ノ谷池西側	春、鯉のぼりを掲げる場所	・鯉のぼりの時期を中心に、 菜の花(晩生) を咲かせる	うすくばら蒔き	***	*							∴				
④ 東入口 ⑤ 茶畑付近	その他、通行が比較的多く、彩りが欲しい場所	・蒔きっぱなしで育つ花の種を蒔き、彩りを添える。 (菜の花・コスモス)	うすくばら蒔き	***					∴(花まで70日)	**	**	∴		**	***	



春 菜の花 4-5月 中ノ谷池



夏 ソバの花 6月 里の丘



秋 コスモス 9-10月 里の丘

(※H24 新規開園部の畑の村エリアについては、別頁参照。)

植物管理

平成24年度 年間維持管理計画書

管理項目	業務内容	業務内容詳細	管理エリア	規模	単位	基準回数	計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
								作業	作業	作業	作業	作業	作業	作業	作業	作業	作業	作業	作業	作業	作業
樹木管理	軽剪定	支障木の除去	利用上の安全や樹木の生育上問題のある枝を切断する	子供の村、記念ガーデン、栗の木広場、他閉園区域園路沿い	-	本	必要に応じて														
	高木管理	病虫害防除	都市公園等における農業使用についての指針等に基づき、薬剤散布等の処理を行う	園内全域(ハマモミに注意)	-	本	必要に応じて														
		枯損木処理	枯木、病虫害による樹勢悪化木を伐採する	目視点検により、地際より伐採する	園内全域	-	本														
		刈込物手入れ	徒長枝刈込	園路へはみ出した枝や根幹を遮る高木に伸びたものを刈込み、樹形を整える	各目的広場、風の谷、風の広場の園路沿い、西駐車場、風の橋込み、H23拡大エリア(丘の村)も含む	590 (590)	m	2回/年	2回/年												
樹林地管理	中低木管理	草取り	人力除草	雑草込み内の雑草を取り除く	風の広場、ハギ雑草地	1	式	1回/年													
		ハギ管理																			
	茶畑管理	摘み取り、人力除草	摘み取りや雑草を取り除く	湘南の丘(茶畑)	850	m	2回/年	4回/年													
	下草刈り	下草刈り			東70mナード(①2500m ²)、子供の村(②2710m ²)、子供の村裏(③1150m ²)	6,360	m	1回/年	1回/年												
林縁の草刈り		林縁の草刈り	生物の生息等に配慮し、必要に応じて刈らずに落ちる。	保全エリア樹林地および果樹園	65,260	m	0-2回/年	0-2回/年													
草地管理	竹林管理	竹林管理	間伐、竹の子取等	閉園区域の竹林全般	5,130	m	0-1回/年	0-1回/年													
		草刈り	草刈り	利用(美観)上に支障のないよう雑草を刈込	東70mナード(①2500m ²)、中の谷池西側斜面(②83380m ²)、東側斜面(③950m ²)、栗の木広場(④150m ²)、丘の村(⑤6,000m ²)	2,000	m	1回/年	1回/年												
	草刈り	人力草取り			里山保全エリア園地・森林園地	16,430	m	2-3回/年	2-3回/年												
		子ガヤ草刈り				丘の村(800m ²)	800	m	3回/年	3回/年											
芝地管理	芝刈り	ススキ等草刈り	場所によっては、生物の生息等に配慮し、一度に刈らずに時期をずらしたり、刈り残したりする。	里山保全エリアの草地	11,380	m	0-2回/年	0-2回/年													
		オギ原草刈り	冬鳥等の生物の生息に配慮し、生物の迅速な繁殖地帯を一旦刈り残す。	芦沢の池周辺	2,910	m	1回/年	2回/年													
	湿地完成	雑草の管理を含む		雑谷低地	3,160	m	0-1回/年	0-1回/年													
	除草	外来種等除草	セイヨウカタクリ等の外来種除草	湘南の丘、平成の森等園内一円	適宜	m	2回/年	2回/年													
	芝刈り	芝刈り			多目的広場(⑤外周園路内側)	11,350	m	7回/年	7回/年												
		芝刈り				東70mナード(①1390m ²)、風の広場(②10040m ²)、湘南の丘北側園路敷(③1860m ²)、多目的広場周辺(④2330m ² +⑤3460m ²)、栗の木広場(⑥3790m ²)	22,940	m	6回/年	6回/年											
	芝刈り	芝刈り			芦中線沿い湘南の丘(西駐車場(①)3830m ²)、西トイレ(120m ²)、西駐車場周辺(4600m ²)	8,550	m	4回/年	4回/年												
		芝刈り				西駐車場(園路P)	1,800	m	1回/年	3回/年											
	芝刈り	エアーコンクリート目土、施肥			ハーヴェスター周辺	730	m	7回/年	7回/年												
		草取り	エアーコンクリート目土、施肥等		多目的広場(外周園路内側)、ハーヴェスター周辺、西臨時P	1	式	必要に応じて	必要に応じて												
屋上緑化管理	草刈り	草刈り	ハーヴェスター屋上緑化の人力草取り	ハーヴェスターの屋上緑化	95	m	3回/年	3回/年													
	施肥等	施肥等		ハーヴェスターの屋上緑化	145	m	2回/年	2回/年													
草花管理	花壇	草取り	草取り	ハーヴェスターの屋上緑化	95	m	2回/年	2回/年													
	花壇管理	花壇植え替え	花壇植え替え	北側シバザクラ	320	m	6回/年	6回/年													
市民協働による里山管理	花壇管理	花壇管理	花壇管理	流の花壇・風のテラス・東入口各100m ² ・コンテナ	320	m	4回/年	4回/年													
		花壇管理	花壇管理	中ノ谷池西側斜面、里の丘畑等	1	式	適宜	適宜													

施設管理

平成24年度 年間維持管理計画書

公園名：茅ヶ崎里山公園

管理項目	管理内容		管理内容詳細	管理エリア	規模・単位	基準回数	計画													
	夜間侵入者通報システム	夜間侵入者通報システム					通年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
建物管理	警備	機構警備	夜間侵入者通報システム	管理詰所、パークセンター、谷の村休息棟	3 棟	通年														
		自家用電気工 作物点検	受変電設備定期点検 受変電設備精密点検	電気事業法による法定点検	パークセンター、谷の村受変電設備	1 式	1回/月 1回/年													
		消防設備点 検	外観及び機能点検 消防用設備総合点検	消防法による法定点検	パークセンター消防用設備	1 式	2回/年 1回/年													
		建物点検	建築設備等の定期点検	建築基準法に基づき定期点検	風のテラス、パークセンター、管理員詰所、風の広場、トイレ、谷の村	1 式	定期													
		定期点検	雨水貯留槽点検 ハイオマスボイラー設備点検 太陽光発電設備 空調設備保守点検	設備業者等による保守点検 "	パークセンター雨水貯留槽 パークセンターハイオマスボイラー パークセンター太陽光発電設備 パークセンター空調設備	1 式 1 式 1 式 1 式	1回/3年 2回/年 2回/年 2回/年													
		日常点検	ボイラー設備 自動ドア保守点検	チャップ作製、サイロ投入、ボイラー稼動状況確認 "	パークセンター自動ドア パークセンターハイオマスボイラー	1 式 1 式	1回/年 冬季													
		警備	巡回警備	警備員による夜間巡回警備(2名以上で実施) 警備員による巡回警備(2名以上で実施)8:30 ~20:00	園内	1 式	100日/年 6日/年													
		設備点検	井戸ポンプ点検 発電機点検 汚水ポンプ保守点検 池用循環設備保守点検 ハイオトイレ保守点検	保守点検 保守点検 保守点検(絶縁測定・消耗品交換等) 濾過器・ポンプ・循環装置点検 消化槽保守点検	柳谷池用、管理詰所裏、谷の村拠点 管理詰所 風の広場、トイレ、芹沢池、管理詰所 芹沢池、中ノ谷 丘の村	3 箇所 1 式 2 箇所 2 箇所	1回/年 1回/年 1回/年 4回/年 2回/年													
	施設管理	定期点検	遊具点検	遊具定期点検(重のトランポリン) 遊具定期点検(スプリング遊具、風・谷のすべり台、風のとりで、)	風の広場	1 基 1 基	1回/年													
			設備点検	遊具 井戸ポンプ点検 発電機点検 池用循環設備	柳谷池用、管理詰所裏、谷の村拠点 管理詰所 芹沢池、中ノ谷 水飲み場 トイレ	1 式 1 式 1 式 1 式	1回/月 1回/月 毎日 1回/2日													
		日常点検	安全点検 工作物点検	目視点検。破損、動作不良箇所の確認	遊具 四阿、休憩所 ベンチ・野外卓 階段 照明灯	1 式 1 式 1 式 1 式	毎日 毎日 毎日 毎日													
			動作確認	点灯確認 動作確認 時刻確認	弱電設備(放送、警報関係) 時計	1 式 1 式	毎日 1回/月													
			オリフィス保守点検 集水樹、側溝の点検 物、マンホールボップの点検	スクリーン清掃、泥溜り清掃 目視点検	柳谷最下流 園内	1 箇所 1 式 1 式	1回/月													
			汚水排水設備 閉閉作業	目視点検	風の広場、トイレ、芹沢池、管理詰所 東、西駐車場、パークセンター裏	3 箇所 1 式	毎日													
共通管理		その他	駐車場門扉 小破修繕	朝夕駐車場閉閉作業 日常点検により、安全上問題のある破損箇所 が見つかった時	園内	1 式	毎日													
				各施設	園内	1 式	毎日													

清掃管理

平成24年度 年間維持管理計画書

公園名：茅ヶ崎里山公園

管理項目	管理内容	管理内容詳細	管理エリア	規模・単位	基準回数	計画回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考			
園内清掃	園路・広場清掃	一般清掃	園内各所	1 式	毎日	毎日																
	池・流れ清掃	水面清掃	園内の池流れ	1 式	毎日	毎日														※特に人の入る季節に実施		
	水路・御溝	簡易清掃	中ノ谷池	1 箇所	必要に応じて	必要に応じて														※支障がある場合に実施		
	定期清掃	堆積物の除去	園内	1 式	必要に応じて	必要に応じて														※人の入る季節に実施		
施設清掃	池清掃	濾過材洗浄	芦沢池	1 式	3回/年	5回/年																
		床面清掃	中ノ谷池	1 式	6回/年	6回/年																
			排水口のゴミの除去	水飲み場	1 式	1回/週	1回/週															
			床のゴミ拾い、汚損箇所の拭き掃除	トイレ	1 式	1回/2日	1回/2日															
		工作物清掃		休憩所・四阿・風のテラス	1 式	1回/日	1回/日															
			汚損箇所の拭き掃除	手すり	1 式	1回/週	1回/週															
				ベンチ・野外卓	1 式	1回/週	1回/週															
				サイン	1 式	1回/月	1回/月															
		受水槽清掃	井戸水受水槽清掃	管理話所、西P休憩舎	2 箇所	1回/3年	1回/年														※雑排水利用	
				管理話所	-	必要に応じて	必要に応じて														※汚れている場合等に実施	
建物清掃	簡易清掃	管理話所清掃	"	m ²	1回/2日	1回/2日																
		休憩舎清掃	休憩舎	224 m ²	1回/2日	1回/2日																
		パークセンター清掃	パークセンター清掃	-	必要に応じて	必要に応じて															※汚れている場合等に実施	
			谷の村休息棟清掃	PCインフォスホール、多目的ホール	1 式	1回/2日	1回/日															
		管理話所清掃	清掃業者等による床59m ² (ワックス掛け)、ガラス21m ²	谷の村休息棟	-	1回/2日	1回/2日															
			清掃業者等による床清掃(ワックス掛け)	管理話所	1 式	4回/年	4回/年															
			"	多目的ホール、会議室	407 m ²	1回/年	1回/年															70-リン
			"	エンラクスホール	45 m ²	1回/月	1回/月															
			清掃業者等による窓ガラス清掃	事務室、ポラテイルーム	76 m ²	4回/年	4回/年															
				パークセンター	1 式	4回/年	4回/年															
トイレ清掃		パークセンター清掃	パークセンター中水槽	1 式	1回/年	1回/年																
		谷の村休息棟清掃	窓ガラス清掃	1 式	4回/年	4回/年																
		水洗い、拭き掃除、ペーパー補充、汚物入れ回収	管理話所トイレ、トイレ2棟、パークセンター、谷の村拠点トイレ	289 m ²	170回/年	170回/年															※利用状況に応じた頻度で実施	
		尿タンク清掃	清掃業者等による	55.4 m ²	180回/年	130回/年															※利用状況に応じた頻度で実施	
ゴミ処理	ゴミ運搬・処分	ゴミ集積所に集められた一般ゴミの清掃業者等による場外搬出及び処分	丘の村(ハイオトイレ)	1 式	1回/年	1回/年																
	缶・ビン類処理		丘の村(ハイオトイレ)	1 式	2回/年	2回/年																
	粗大ゴミ・不法投棄 ゴミ分別運搬・処分	ゴミ積込、運搬、処分	園内	1 式	3回/月	3回/月															※管理許可施設等から排出されるゴミは除く	
その他	その他ゴミ処分	伐採、刈込、草刈り等で発生した残材処分	1 式	必要に応じて	必要に応じて															場内処分を基本とするが、量が多い場合に実施		

運営管理

平成24年度 年間維持管理計画書							
管理項目	管理内容	管理内容詳細	管理エリア	規模・単位	実施回数	備考	
運営管理	環境情報等の蓄積・共有	市民参加型の環境のモニタリング等を通じて順応的管理に必要な情報の蓄積、共有の仕組みを作る	園内	1 式	適宜		
	里山保全の基本方針・管理目標検討作業への協働	県が主催する里山保全の方向性、管理目標の検討作業に指定管理者として参加し、県と協働して模索する	里山保全ゾーン (柳谷・堀地部+樹林地)	1 式	適宜		
	茅ヶ崎里山公園運営会議 (仮称)の立上げ	指定管理者のコーディネートのもと、地元専門家等の助言を得ながら、本公園の里山保全・利用促進などを市民と連携しながら進めるための調整機能を果たす会議を立ち上げる(H21は調整・準備)	園内	1 式	適宜		
	里山保全の実践	多様な主体との連携(総合学習など地域等)による里山保全のコーディネート、実践	園内	1 式	適宜		
			年間活動計画調整、会員への情報提供(通信)、收穫物管理				
			年間活動の実施(準備等)	園内(水田、雑木林、畑等)	1 式	適宜	茅ヶ崎里山公園倶楽部をより多くの市民を巻き込みながら里山における様々な営みを実践することによって里山保全と利用者による利用者のための公園を展開する
			倶楽部活動支援(マネージメント、用具、資材等)				
			倶楽部レター発行等による広く情報発信				
		普及啓発	多様な主体との連携による里山保全に係るモニタリング、人材育成、実践等を通じて普及啓発を行う	園内外	1 式	適宜	
		人材育成	公園利用と里山保全の知見を持ち実践する人材の発掘と育成を行う	園内外	1 式	適宜	茅ヶ崎里山公園で活動する市民リーダーを育成する講座を継続的に開催する
利用促進	情報発信、PR活動	HPの定期的更新	園内外	1 式	1回/月	活動報告、季節便りなど	
	パークセンター多目的ホール等の運営管理	里山保全を含めた公園の利用促進につながる活動プログラム展開や展示	パークセンター多目的ホール、会議室等	1 式	適宜	市民との協働による展示(地域や自然)や活動プログラム(公園利用や里山文化など)提供など	
	谷の村拠点の利用促進	里山保全を含めた公園の利用促進につながる活動プログラム展開や展示	谷の村休憩棟	1 式	適宜	市民との協働による展示(地域や自然)や活動プログラム(公園利用や里山文化など)提供など	
	園内活動団体(市民グループや地域)による利用促進の支援	行事予定の広報、緊急時の連絡等	園内	1 式	1~2回/月		

H24年度 拡大分

植物管理 内訳書	項目	業務内容	管理エリア	数量	総数量	単位	頻度等	備考	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
樹木管理	枯損木処理	幹周30cm	丘の村	5	5	本	適宜																	
			丘の村、畑の村	100	100	m2	年1回 5月～11月																	
	草地管理	密生	畑の村、森の村、丘の村、西P	20,000	40,000	m2	年2回																	
			森の村(地被植栽エリア)	1,000	4,000	m2	年4回																	
	畑管理	密生	畑の村	1,500	3,000	m2	年2回																	
			畑の村	1,500	6,000	m2	年4回																	
		耕運	畑の村	1,500	3,000	m2	年2回																	
			畑の村	1,500	3,000	m2	年2回																	
	共通管理	作物苗購入	畑の村	1	2	式	年2回																	
			資材・用具購入	1	1	式																		
施設管理 内訳書	建物管理	夜間機械整備	畑の村拠点施設	1	12	ヶ月	毎日(365日)																	
			畑の村拠点施設	1	1	回	年1回																	
	工作物管理	電気施設保守点検	畑の村拠点施設	1	1	回	年1回																	
			畑の村拠点施設	1	1	回	年1回																	
		消防施設保守点検	畑の村拠点施設	1	1	回	年1回																	
			畑の村拠点施設	1	1	式	年1回																	
	共通管理	バイオトイレ保守点検	森の村、丘の村	1	3	回	年3回																	
			小破修繕	1	1	式																		
	清掃管理 内訳書	建物定期清掃	厨房	事務所、活動ルーム、キャッシャー	48	2,496	m2	週1回(52回)																
				展示室・多目的室・食堂	31	372	m2	月1回(12回)																
一般清掃		窓ガラス清掃	畑の村拠点施設	4	1,584	m2	月1回(12回)																	
			畑の村拠点施設	4	4	回	窓ガラス 50m2																	
		害虫駆除	畑の村拠点施設	3	3	本	年1回																	
			食堂、厨房	2	2	回	年2回																	
トイレ清掃		畑の村拠点施設、森の村トイレ	森の村トイレ	78	20,384	m2	週5回(260回)																	
			森の村トイレ	4	4	タンク	年1回																	
		尿タンク汲取り	森の村トイレ	1,600	1,600	L	年1回																	
			北駐車場、畑の村拠点周辺、園路	5,000	180,000	m2	月3回(36回)																	
運営管理 内訳書	業務内容	管理エリア	畑の村拠点施設	1	1	式																		
			物品購入	1	1	式																		
光熱水費 内訳書	業務内容	管理エリア	畑の村、森の村、丘の村	1	1	式																		
			電気、上下水道、電話	1	1	式																		

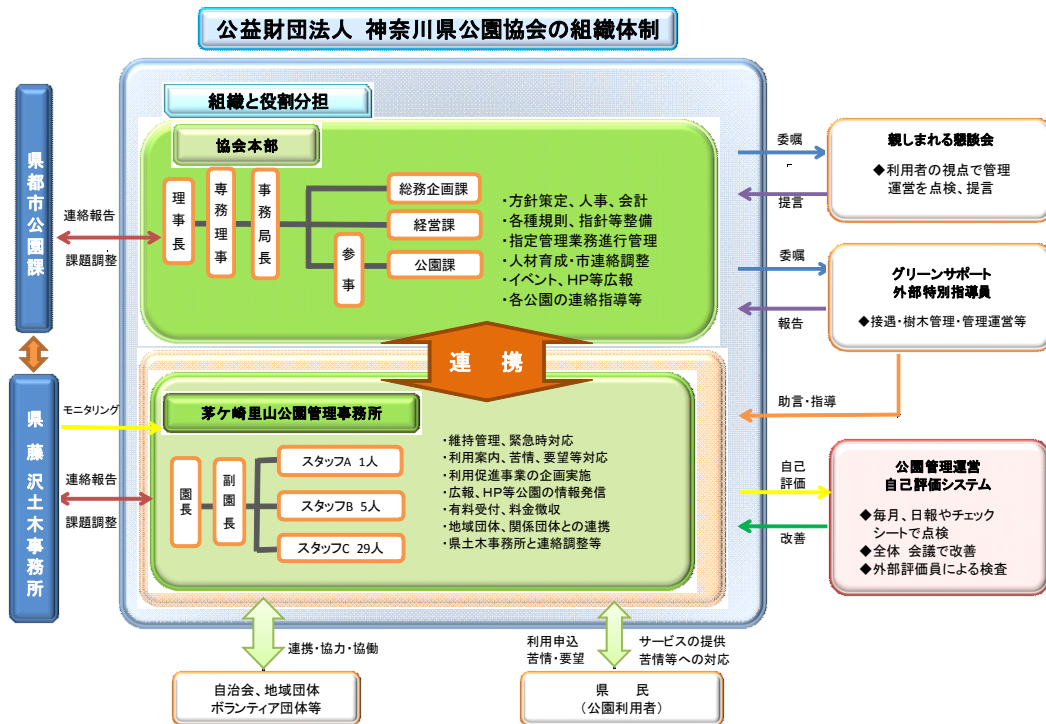
計画書 4 「執行体制の内容」

(1) 本部と現地の役割分担（業務、人員配置等）

本部に統括管理部門を、また、現地に茅ヶ崎里山公園管理事務所を置き、PDCA サイクルによる業務改善とコスト削減に努め効率的効果的な管理運営を遂行します。

ボランティア団体や教育機関などとこれまで築いてきた信頼関係を大切に、地域と一体となった管理運営を行います。

有識者や専門家等で構成する「親しまれる公園づくり懇談会」において、外部の視点での評価や助言を頂き、公園運営の質の向上に努めます。また、樹木医や接遇専門家など外部の特別指導員（グリーンサポート）により現地スタッフの技術向上、接客指導、管理状況に対する助言等のサポートを行います。



■ 県との連絡調整体制

- ・ 日報月報の業務報告、日々の業務に係る連絡報告等は公園事務所を窓口とした体制とします。
- ・ 事故、事件など緊急的な事案が発生した場合の緊急連絡報告の体制は「計画書 6 緊急時の対応」に記載します。
- ・ 県藤沢土木事務所が実施するモニタリングの結果、改善事項がある場合は、園長以下全員で管理運営の見直しや工夫を検討し、本部とも調整して公園の質の向上を図る体制とします。
- ・ その他、許認可に係る事項など調整事項や課題が生じた場合、公園事務所を窓口として県藤沢土木事務所及び協会本部と調整し、課題解決にあたります。

(2) 現地の職員配置計画

ア 現地の責任者及び経歴

園長は、公園管理経験者及び行政経験の豊かな人材を常勤で配置し、園の統括責任者として、地域との連携・協働に取り組みます。副園長は、園長の代行者として行政経験が豊富な人材を充て組織を円滑に推進します。

現地責任者	役割	経歴
園長	茅ヶ崎里山公園の統括	公園管理運営業務 20年
副園長	園長の代行	緑地関係行政経験 35年

イ 職員配置計画

茅ヶ崎里山公園現地職員体制

公園の総括責任者として、園長を置き、園長は、当協会の会計規程に基づく会計事務の責任者としての「会計員」に、また、職員から「現金取扱員」を任命し金銭の出納保管管理を担います。園長の下には、園長を補佐する代行者として副園長を配置し、公園管理運営スタッフ30名と一体となり、多岐に渡る業務を遂行します。

スタッフには、救命講習会を受講させ緊急時に備えます。

職	人員	雇用	業務内容	勤務時間	通常配置人員等
園長	1	人 常勤	総括責任者、会計員	20日/月 7.75H/日	3~8人
副園長	1	人 常勤	園長補佐 & 代行	20日/月 7.75H/日	
スタッフA	1	人 常勤	利活用推進、地域連携・協働、維持管理計画	20日/月 7.75H/日	
スタッフB(1)	5	人 非常勤	施設維持管理 利用促進 県民協働	18日/月 7.75H/日	9~29人
スタッフC(1)	29	人 パート	利用案内、植物管理、施設管理、清掃管理、駐車場管理等全般	13~15日/月 7H/日	
計	37	人			

ウ 組織図は、前頁参照

エ 勤務ローテーション

平成 24 年度 勤務予定表 (例)

茅ヶ崎里山公園 勤務予定表 (通常期の例)																																
役職	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計	
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	1か月 の日数	
園長	○	○	○		○	○	○		○	○			○	○		○	○			○	○	○	○	○			○	○		○	20	
副園長	○			○		○	○	○		○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○			○	20
スタッフA	○	○	○		○	○	○	○			○	○			○	○			○	○	○	○	○			○	○			○	20	
スタッフB-1	○			○	○	○	○		○	○	○		○	○		○	○			○	○	○			○	○			○	○	18	
スタッフB-2	○		○		○	○	○			○	○	○			○	○			○	○	○			○	○	○			○	○	18	
スタッフB-3	○	○			○		○	○	○			○	○	○			○	○	○			○	○	○			○	○			○	18
スタッフB-4	○			○	○	○	○		○	○	○		○	○			○	○	○			○	○			○	○			○	○	18
スタッフB-5	○		○		○	○	○			○	○	○			○	○	○			○	○	○			○	○	○			○	○	18
スタッフ	26	13	13	13	12	14	18	15	13	16	14	11	14	14	17	11	14	13	15	14	13	14	14	16	14	12	12	15	13	14	427	
計	34	14	15	16	19	21	26	18	17	22	20	16	18	19	21	15	22	19	19	17	20	18	17	22	19	17	15	18	18	19	571	

(3) 業務の一部を委託する場合、具体的な委託業務の内容、指定管理者としての点検、チェック方法、指導監督方法などについて

ア 委託業務の考え方

私たちは、公園を県民の皆様に快適にご利用いただくため、施設等の維持管理においてはできるだけ、現地スタッフによる直営作業を基本とした業務執行に努めていますが、関係法令に基づく法定点検、定期点検業務や特殊又は専門的技術を要する樹木の高木作業等は、スタッフの安全面や効果性、効率性の観点から外部委託をしています。

また、地域との協働による地元活性化の視点で、地域に委ねることが一層の効果をもたらす場合は、できる限り地元発注を心掛けています。

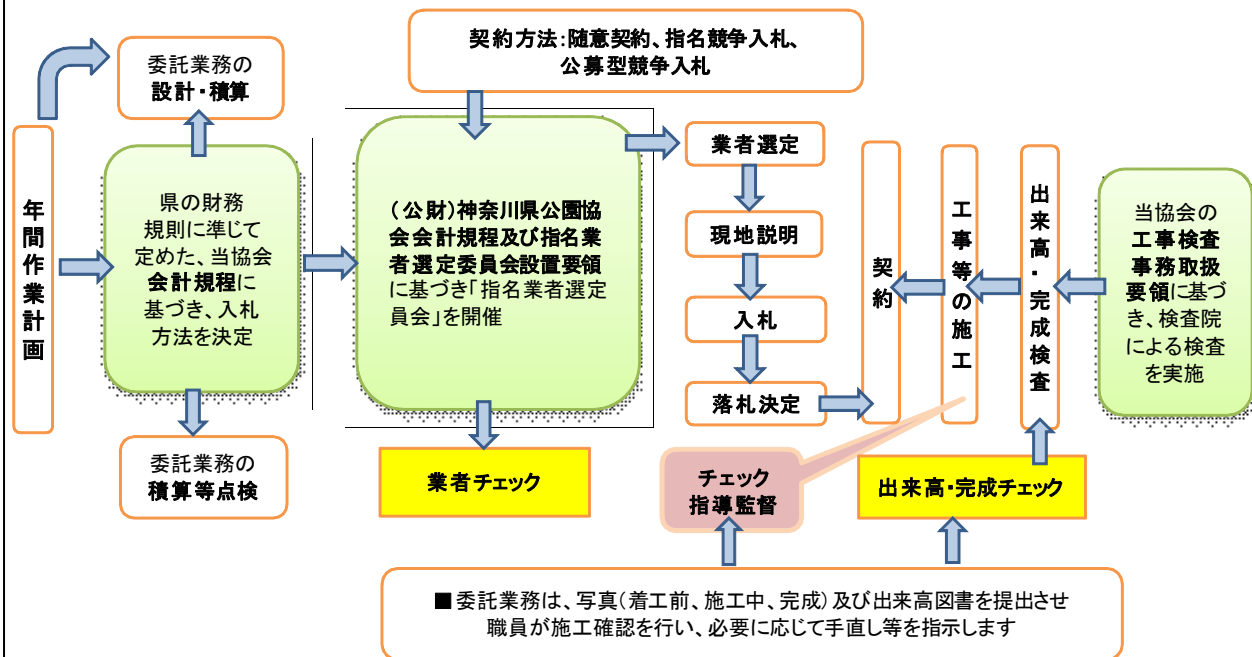
■委託する主な業務の内容

区分	業務名	業務内容	理由
植物管理	枯損木処理	樹勢悪化木（大径木）を伐採する	専門的な知識、技術を要する業務のため
施設管理	法定点検 定期点検	パークセンター及び谷の村の受変電設備の定期及び精密点検	免許及び専門的な知識を要する業務のため
		パークセンターバイオマスボイラー設備の保守点検	
		池用循環設備（2箇所）、井戸ポンプ（3箇所）及び汚水ポンプ（3箇所）の保守点検	
	遊具点検	雲のトランポリンほか遊具の定期保守点検	専門的な知識を要する業務のため

イ 委託予定業務

様式第3号「委託業務一覧表」のとおり

ウ 委託業務点検、チェック、指導監督について



計画書5 「緊急時の体制」

本公園には、谷戸を巡る園路・階段・水辺等や、大型遊具等があり、このような場所での事故や、気象災害による斜面の崩落などの可能性が想定できます。こうした特性を踏まえ、私たちはこれまで、安全教育、施設点検、情報収集等を行い、事件や事故、気象災害等の未然防止に最善を尽くし、大きな人的、物的被害を防いできました。

今後も日頃より緊急時に備えると共に、これらが発生した場合には利用者及び地域住民の安全確保を第一に、迅速かつ適切な措置を講じます。

(1) 事故や災害発生時などの緊急時の体制及び初期対応

事件、事故の発生時及び災害が予測される場合、勤務時間内については、勤務中のスタッフが速やかに配備体制に着手し、及び初期対応を行います。

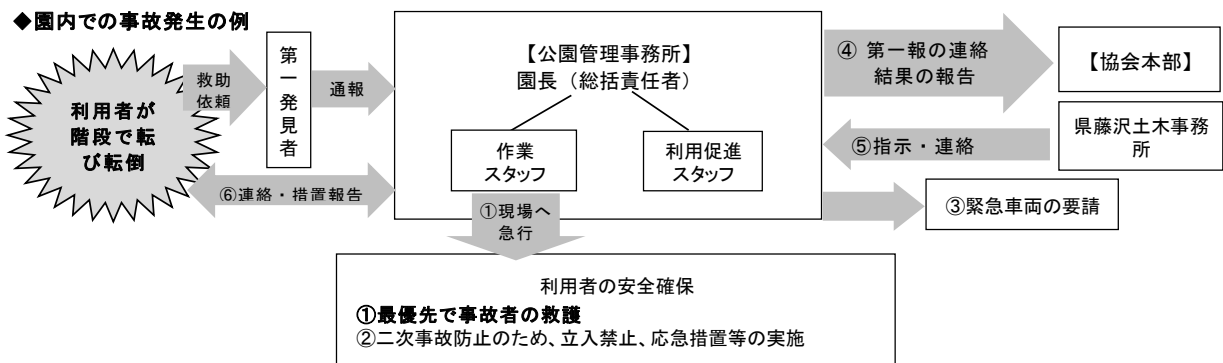
勤務時間外については、委託警備業者や関係機関との連絡網で連絡を取り合い、状況に応じて**緊急時対策連絡網**により職員参集を行います。

ア 事件、事故発生の場合

園内で事件、事故が発生した場合には、次の配備体制で初期対応に当たり、「人命を第一優先」とした迅速な行動を行います。

事件や事故後には、原因の究明及びその経過や対応を記録し、これまでの履歴と合せデータに保存し今後の管理に活かすことで、再発防止に努めます。

◆園内での事故発生の例

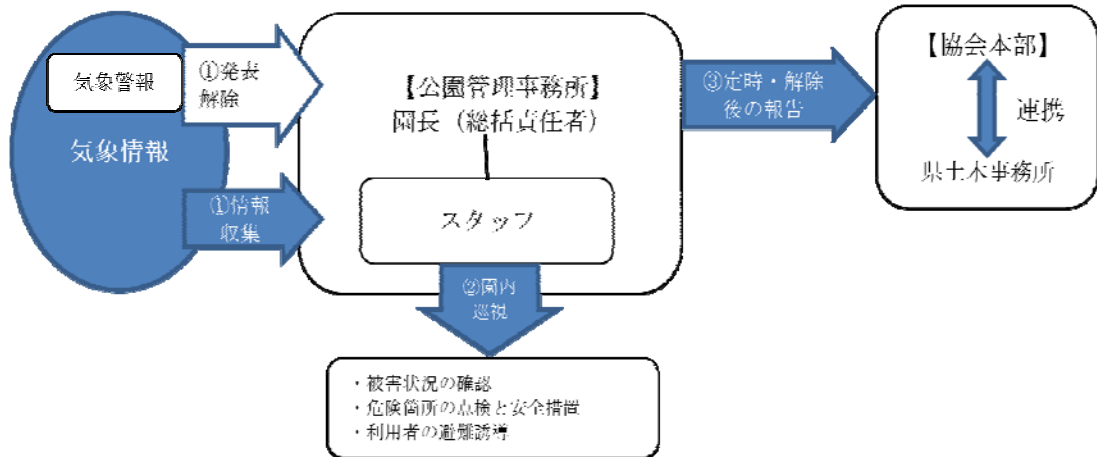


- ① 作業スタッフが現場へ急行、利用者の立場に立った被害者の救護や応急手当、火災の場合には消火活動を実施
- ② 二次災害の防止のための立入防止措置、避難誘導
- ③ 状況に応じ、消防車、救急車等の緊急車両を要請
- ④ 発生の第一報やその後の状況、結果を「事故報告書」として関係機関に連絡、報告
- ⑤ 協会本部及び県からの指示、指導に対応
- ⑥ 被害者及び発見者への措置状況の報告

イ 大雨、暴風、落雷、大雪等による災害発生が予測される場合

大雨、暴風、落雷、大雪等が予測される場合には気象状況に関わる情報を早期より収集し、気象庁より警報が発令された場合や警報発令に至る恐れがある場合は、当協会の**災害対策活動指針**に基づいた警戒配備体制で警戒に当たります。

◆ 気象情報



- ① パソコンや携帯電話からの防災情報メール、インターネット気象情報の収集
- ② 作業スタッフが安全に留意しながら園内をパトロールし、被害状況の確認、危険箇所の重点点検と安全措置の実施、利用者の帰宅要請、避難誘導

重点 点 箇所	大雨時	池や排水施設など雨水が集中し冠水の危険が高い箇所や、土砂流出の危険がある箇所
	暴風時	工作物、看板、樹木の枝折れ等
	落雷時	電気設備、放送設備等
	大雪時	スリップや転倒事故の危険が高い階段や坂路、樹木の枝折れの有無

- ③ 公園管理事務所、協会本部に連絡指示体制を確保し、県藤沢土木事務所と公園協会本部への定時または警報解除後の被害状況報告

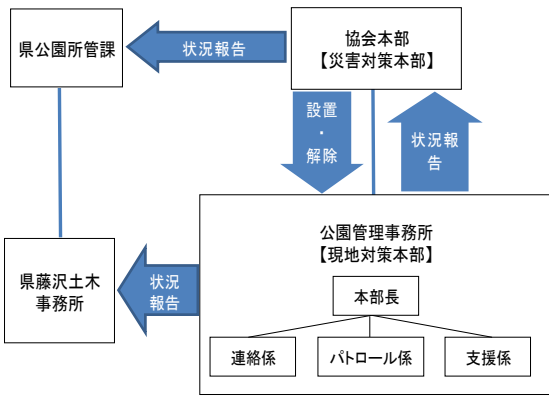
ウ 大雨、暴風、落雷、大雪等による災害が発生した場合

「事件や事故が発生した場合の体制」と同様の体制により、初期対応として作業スタッフが現場へ急行し、被害者の救護や二次災害の防止、現場の応急処置等を行い、状況に応じて救急車等の緊急車両の要請や専門業者への要請を行います。

エ 大地震が発生した場合

大地震（震度5弱以上）が発生した場合には、災害対策活動指針に基づき職員を参集し、本部内に災害対策本部を、公園管理事務所内に現地対策本部を設置し、私たちが管理運営する施設全般の災害対策活動を統括的に行います。

◆ 震度5弱以上の地震発生時の体制

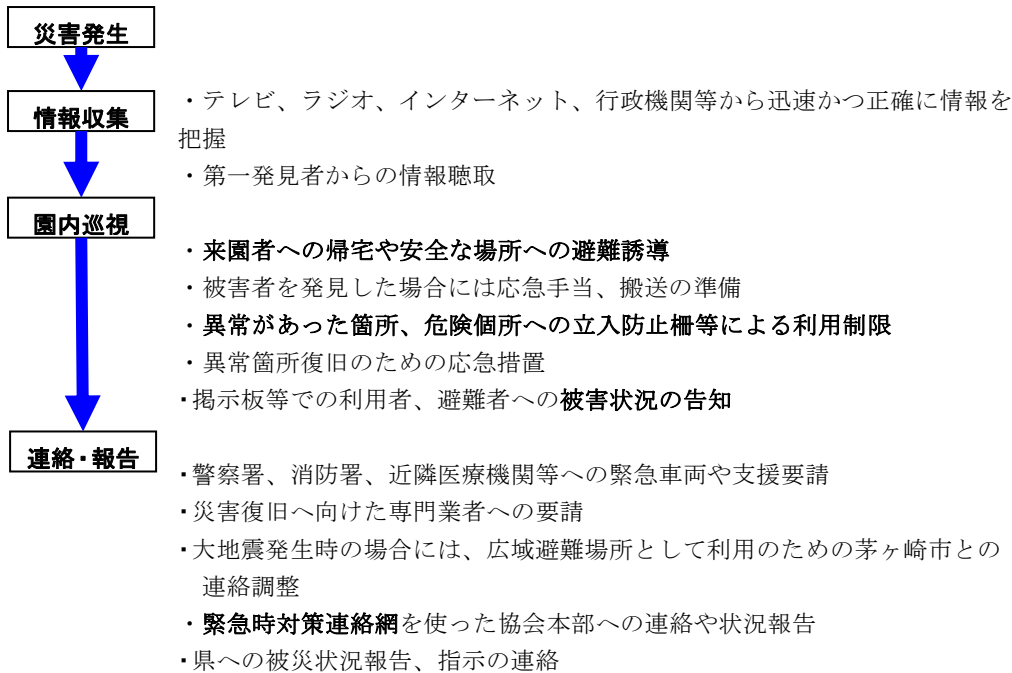


◆ 現地対策本部役割分担表

職名	分担業務	備考
本部長	災害対策業務の統括、現地対策本部の総括	・園長(不在時は副園長)
連絡係	・緊急連絡網による所属職員への連絡と被害確認 ・緊急車両の要請 ・被害情報等の収集、報告、整理 ・災害対策本部及び県藤沢土木事務所への報告 ・関係機関との連絡調整、問合せ対応	・副園長(不在時は公園管理主任) ・利用受付スタッフ
パトロール係	・園内を安全を確認しながらパトロールを実施 ・被害状況を把握し本部長に報告 ・来園者の避難誘導 ・二次災害の防止のための立入防止や応急措置	・公園管理主任(不在時は利用受付管理主任) ・作業スタッフ
支援係	・避難した人に対するの応急手当 ・防災施設の稼働	・利用受付管理主任(不在時は利用受付スタッフ) ・利用受付スタッフ ・作業スタッフ

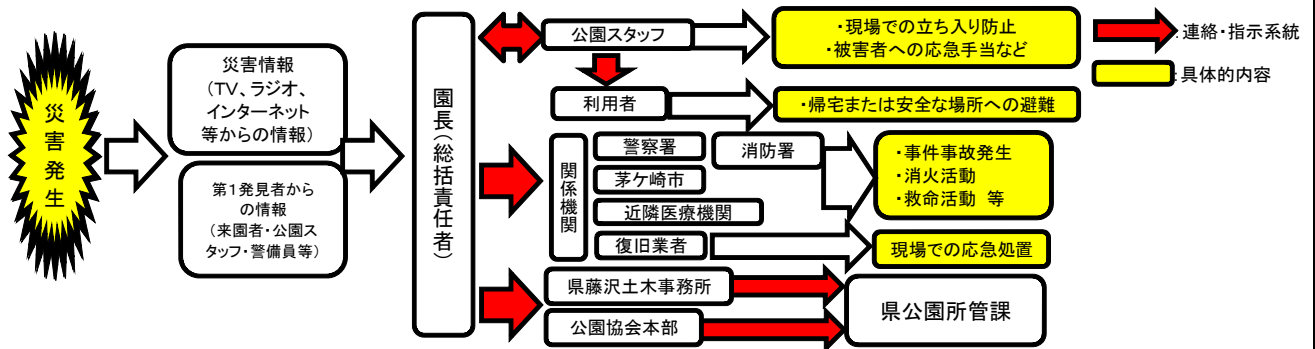
(2) 災害時の避難誘導、利用制限等も考慮した連絡方法、対応について

ア 災害時の連絡方法と対応



大雨洪水や大地震等の災害が発生した場合には、園長（不在時は参集したスタッフの中から）を総括責任者とした上で、関係機関への連絡及び対応を行います。また、緊急連絡体系については、県の防災体制の下で対応します

◆災害発生時の連絡及び対応体制



イ 災害時に備えた日常対応

火災や災害等の際に適切な行動や救命、応急手当を全スタッフが速やかに行い、被害を最小限に抑えられるよう、日常より災害時に備えた対応を行います。

- ①災害時に連絡体系に基づいた円滑な情報伝達や行動がとれるよう、朝礼やミーティングを通じて日常より情報の共有、意識の統一を図ります。
- ②管理事務所内にはAEDを常備し、スタッフには日本赤十字社救急法救命員の資格を取得させて、適切な操作と救命措置をいつでも行えるようにします。
- ③消防署や地域の協力も得て、全スタッフが参加する防災訓練、救命講習を年1回以上実施します。
- ④ 火器など防災設備の定期稼働点検を行います。

計画書6「人材の育成計画」

(1) 公園の管理運営に携わる職員の資質の向上について

私たちは、公園管理におけるプロフェッショナルとして常に質の高い公園管理運営を目指し、施設の安全管理、接客、快適な公園管理の3本柱をテーマに、技術の総合力を向上させるため、職員の研修を実施しております。現在では、来園者に対して気軽に挨拶を行い安心して快適に過ごせる公園へと変化し、取組の成果が発揮されています。

ア 職員資質向上の考え方

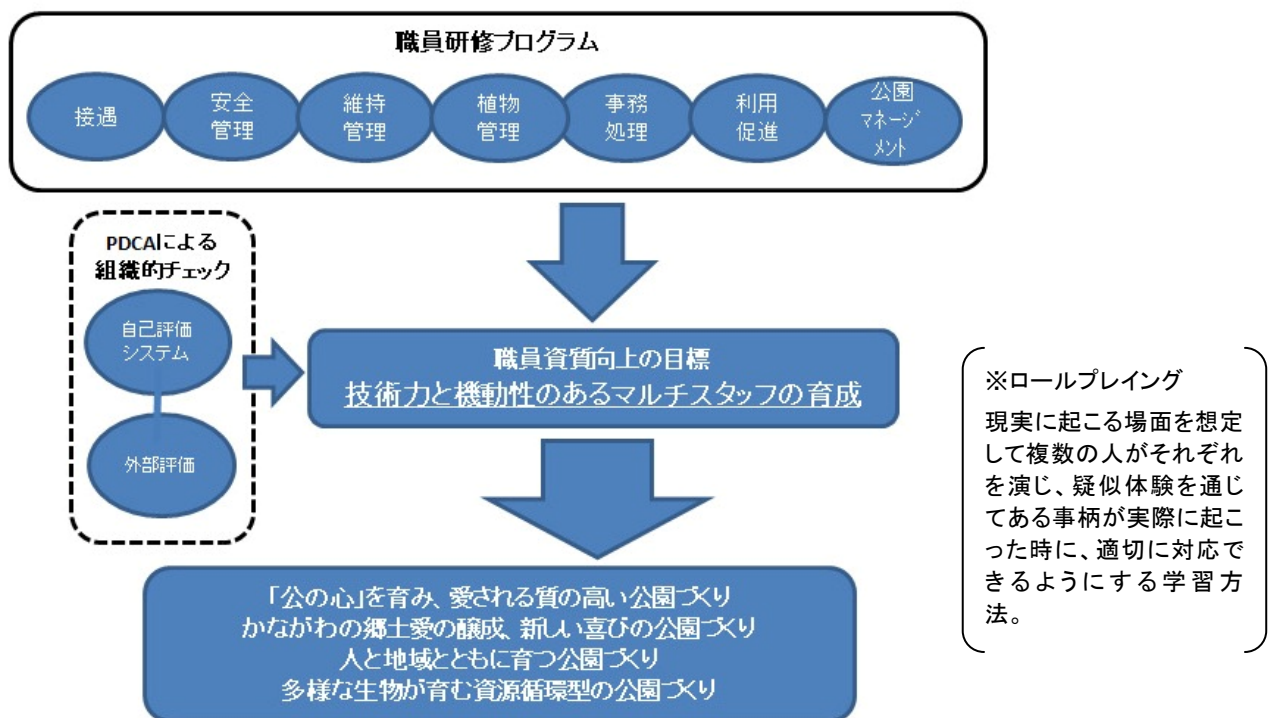
私たちはこれまでの方針と研修プログラムを継続しつつ、向上心を持って研修プログラムの内容充実を図り、平成22年度から5年間のテーマを「技術力と機動性のあるマルチスタッフの育成」として、さらなる職員の資質向上を図ります。

イ 外部評価員による職員教育と自己評価による資質向上

公園の日常の施設管理や利用者対応など、第三者の意見を尊重し点検するとともに、協会が独自で設定した自己評価点検により自らの意識改革と資質の向上を図ります。

ウ 新たな研修プログラムの導入

接客研修をより効果的なものにするため、※ロールプレイング方式を取り入れたものや、近年公園内でも活発化している市民活動に対応するボランティアコーディネーター研修等も新たに取り入れ、技術の向上、職員の資質向上を図っていきます。



(2) 公園の管理運営に携わる職員の資質の向上について

茅ヶ崎里山公園における管理運営上の課題として、里山環境の保全、パークセンター展示の充実などが挙げられます。そのため私たちは、「技術力と機動性のあるマルチスタッフの育成」を図ると共に、園内の動植物の分布特性やその保全についての研修や、県民の皆様が楽しんで理解できる展示手法等の研修も実施し、公園管理運営に役立つ職員研修を実施します。

区	研修項目	目的	内容	講師	頻度	H21～25の職員研修方法	
公園協会共通研修	接遇	朝礼実	意識改革、業務確認、安全確認	挨拶唱和、業務ミーティング	園長	毎日	確かな業務推進及び気持ちの良い接客の日常化を目指す
		接客研修	サービス向上、気持ちの良い利用者対応	挨拶、会話等の教指	特別指導員	年1回	より質の高い意識と接客対応を目指す
		苦情対応研修	的確で、気持ちの良い接客	苦情対応ロールプレイング研修の実施	園長	月1回	的確な初期対応の確立を目指す
	事務処理	事務研	確実に迅速な事務処理	事務処理方法の習得	経理担当職	適宜	業務の効率化及び事故防止
	安全管	個人情報取扱研修	サービス向上、的確な業務推進	情報の適正利用及び習得	総務担当職員	年1回	公園利用者に対する損害を与えない意識の醸成
		緊急時対応研修	火災時の的確な対応	防犯訓練、応急手当実習	外部講師等	年1回	火災の未然防止及び生時の的確な行動の担保
			震災時災害時等の対策	救急法救急員研修	外部講師等	年1回	災害時でも落ち着いて的確な行動をとる
		維持管理技術研修	遊具での事故防止	遊具点検研修の実施	外部講師等	年1回	点検不備及びそれに伴う事故ゼロを目指す
	労働安全衛生研修	労務上の事故防止	振動工具安全衛生研修の実施	外部講師等	年1回	作業上事故を未然に防ぐ意識の醸成	
	植物管理	維持管理技術研修	樹木の適正管理、公園の景観整	樹木剪定研修の実施	特別指導員	年1回	剪定技術の他、公園全体より良い景観づくりを目指す
		維持管理技術研修	樹木の適正管理、薬剤使用の安全確保	樹木病虫害研修の実施	特別指導員	年1回	薬剤の安全使用を確実に実施していく
	公園マネジメント	外部セミナー参加	公園マネジメント能力の向上	公園マネジメントセミナー等への参加	外部講師等	適	効率的な公園管理を目指す
		ミーティング実施	意識改革、業務確認、安全確認	全体業務内容及び進捗確認	園長	月1回	公園の全職に公園管理運営方針、実施方法を浸透させる
	利用促進	ボランティアコーディネート研修	サービス向上、利用者の安全確保	ボランティアの安全確保、対応方法の習得	外部講師等	年1回	ボランティア活動を的確にサポートする技術習得を目指す
公園独自研修	植物管理	危険生物研	危険生物への対応	危険生物の生態と対処法の習得	内部講師等	適宜	全外勤職員が危険生物の対応習得する
	植管理	里山管理研修	里山管理手法の習得	里山管理の考え方と手法習得	内部講師等	適宜	外勤職員の里山管理への意識技を向上させる
	利用促進	他施設視察研修	利用促進、サービス向上	他施設見学、情報収集	外部講師等	年1回	時代にあった公園利用の追及を目指す

計画書7 「諸規程の整備」

○ 就業、給与、決裁、会計及び個人情報の取り扱い等について

私たち公益財団法人神奈川県公園協会職員は、「公の施設」を県の代行者として管理運営する公益法人であることを常に認識し、県民に対し真摯で公明正大な心で接し、快適な県民生活の向上に寄与することを目標に、職員の雇用から就業、給与等運営に必要な諸規定を、次の通り定め、職員はこのことを十分自覚し、責任を持って公園管理業務に従事します。

(1) 就業、給与、決裁、会計のそれぞれの取扱いについて

ア 就業・給与

- 職員の就業については、当協会の業務に常時従事する者の就業について規定した「財団法人神奈川県公園協会職員就業規程」において、必要事項を定め適切に運用します。
- 給与については、当協会の就業規程第28条に基づき「財団法人神奈川県公園協会職員給与規程」を定め、職員の給与や手当について必要事項を規定し適切に運用します。
- 臨時職員の雇用等については、「財団法人神奈川県公園協会臨時職員の雇用、給与、勤務時間等に関する規程」において、専門員、パート職員等雇用に関し必要事項を定め、適切に運用します。

専門員：専門的分野の知識、経験豊かな人材を広く公募し、民間人材の雇用機会の拡大を図る。

イ 決裁

業務執行並びに人事等に関する決裁については、「財団法人神奈川県公園協会職務権限規程」において、理事長等の決裁事項など必要事項を定め、適切に運用します。

園長決裁権限の強化：公園管理業務の緊急時に備え小破修繕等の執行権限を付与。

ウ 会計

当協会の会計処理の基本事項を「財団法人神奈川県公園協会会計規程」で定めているほか、関係要領等を整備し、会計、経理の公正、効率的執行を行います。

また、業務の適正かつ効率的な執行を行うため、「財団法人神奈川県公園協会内部指導検査要領」を定め、各業務の実施状況の把握、点検、検査、指導を行います。

内部指導検査要領に基づく検査体制等

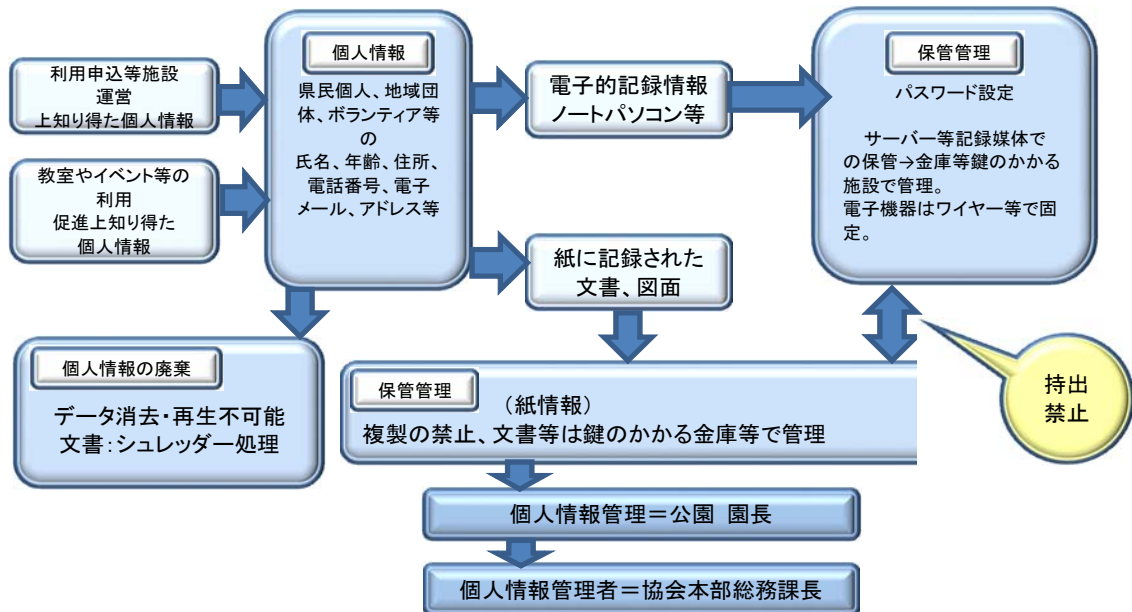
検査の範囲	①協会業務の実施に関する事項 ②協会の財務及び会計に関する事項 ③その他理事長が必要と認める事項				
検査体制	検査総括 3名	総務課長 経営課長 公園課長	主任検査員 6名	毎年度、職員の中から理事長が任命する	検査の実施は、 3班9名体制で行う
対象箇所	都市公園課所管の公園及び自然公園課所管のビジターセンター等				

(2) 個人情報の取扱い、職員への周知徹底について

ア 個人情報の取扱い等

当協会が取り扱う個人情報は、各公園において活動するボランティアや各種行事の講師と参加者、スポーツ施設等有料施設の申し込み利用者などの個人情報及び本部で扱う各種個人情報がありますが、当協会では、県の個人情報保護条例に基づき「財団法人神奈川県公園協会個人情報保護規程」を定め、同規程第9条を受け定めた「神奈川県公園協会が保有する個人情報の扱いに関するガイドライン」に沿って適切な運用を行います。

■個人情報のガイドラインと管理体制～ガイドラインの流れ～



イ 職員への周知徹底

個人情報を扱う窓口や事業担当などの職員が意識を持って管理することが重要ですので、毎年実施する職員研修及び各公園の全体会議等において、特に

- (ア) 利用目的を明確にして、必要以上の個人情報は保有しない。
- (イ) 利用目的以外に、個人情報を利用・提供しない。
- (ウ) 本人から直接個人情報を取得する時は、利用目的を明示する。
- (エ) 個人情報の漏洩防止措置を行う。
- (オ) 知り得た情報を他人に知らせたり、不当な目的に使用しないこと。

の周知徹底を図ります。

ウ 関係法令の遵守

県立都市公園は、「公の施設」であるため、指定管理者は県の代行者として、地方自治法を始め、都市公園法、同法施行令、県の都市公園条例等関係規則や労働基準法などを、十分理解し、公園管理運営を行う責務があります。また、公園管理施設の安全の保持や県民が快適に過ごせる場を提供するためには、設備点検に関する法律や衛生的環境の確保に関する法律、消防法等指定管理者として各種法令を熟知しておく必要があります。

私たちは、職員研修や講習会の受講等により職員教育を行い、各種法令を熟知したうえで法令を遵守し、適正な公園管理運営を行います。

エ 情報公開&守秘義務

私たちは、業務上知り得た情報やその内容を第三者に漏洩しないことなど守秘義務を守りますが、情報公開では、県の情報公開条例に基づき定めた「財団法人神奈川県公園協会情報公開規程」により、指定管理業務で知り得た情報や文書は、規程第5条に記述されている個人情報等の除外事項を除き、情報開示をします。

オ 文書の管理・保存

当協会が作成又は受領した文書等は、県の文書管理規程等に準じ定めた「財団法人神奈川県公園協会文書等管理規程」により、適正に管理・保存します。

計画書 8 「公園の安全管理」

○当該公園で想定される安全確保の方策について

本公園は緑豊かな起伏のある公園で、樹林地や谷戸を巡る園路・階段や水辺等があり、また、ローラー滑り台、ふわふわドーム、複合遊具等も設置されています。

私たちは、長年の本公園における安全管理の実績の中で、施設の特徴を踏まえ、事故等の発生を予測しての未然防止、及び万一発生した場合の初期対応の体制徹底に重点を置いてきました。

この経験を活かし、さらにきめ細かい注意を払うことで事故の発生を未然に予測する、「小さな傷を早期に発見」を心がけた安全管理を徹底します。

(1) 施設の安全管理について（安全管理の指針（マニュアル等）の整備、安全対策の研修の実施）

ア 園内施設全般の安全管理方策

(ア) 各種施設点検の実施

私たちは、これまで日常巡視や、遊具を始め各種施設の目的、関係法令に応じた定期、法定点検を確実にを行い、安全確保に努めてきました。今後についてもこれを継続しつつ、施設の状態の経年変化に合わせ点検内容、項目を随時更新していきます。

◆施設点検実施計画

点検名称	点検箇所	回数	点検者	報告先	適用マニュアル
日常巡視	園内全域	毎日1回	公園管理主任・作業スタッフ	園長	県立都市公園維持管理マニュアル（共通編・各公園編）
施設点検パトロール		年1回	園長・公園管理主任・本部職員	県土木事務所・協会本部	
重点点検	重点点検箇所	随時	園長・公園管理主任・作業スタッフ	県土木事務所・協会本部	
遊具安全点検	遊具	月1回以上	作業スタッフ	協会本部	遊具点検チェックリスト・遊具の安全に関する規準(案)
遊具定期点検		年1回	専門業者	藤沢土木事務所	
各施設・法定点検	各施設	各施設毎	直営または専門業者		各施設点検マニュアル

(イ) 各種マニュアルの活用と整備

私たちは、**県立都市公園維持管理マニュアル**を管理運営全般の総括的マニュアルとして、また、遊具を始めとした**各施設、工作物のマニュアル、園内重点点検箇所マップ等**を整備、活用し、スタッフの対応基準の明確化や意識統一に努めてきました。今後、さらに不足な部分については新たにマニュアルを整備し、統括した安全管理を意識して系統的な整理を行うとともに、それぞれの内容を適宜更新します。

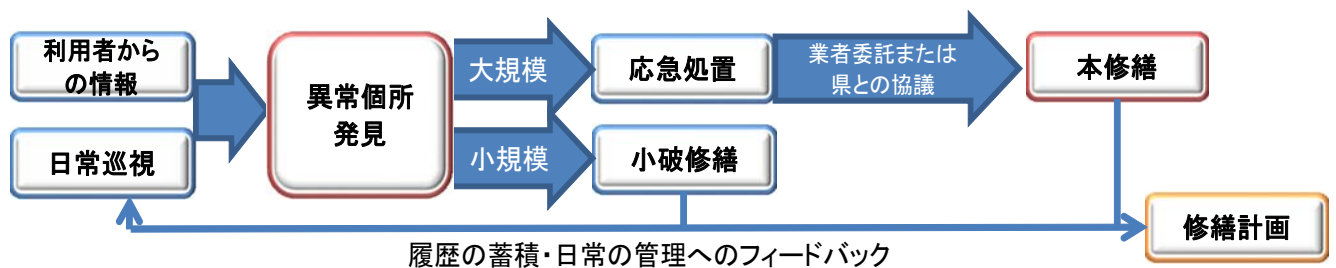
また、状況によっては緊急性や柔軟性を要する様々なケースが考えられますので、マニュアルに頼るだけでなく、これまでの経験も生かした臨機応変な対応を実践します。

(ウ) 点検と連動した速やかな施設修繕の実施

巡視や点検、または外部からの情報等により異常箇所を発見した場合には、小破修繕等規模に応じて迅速な復旧を行うとともに、大規模な事案は立入防止措置や応急処置による仮復旧を行い、安全を確保します。

修繕結果については、履歴として蓄積し、以後の維持管理へ反映させることで危険の早期発見と計画的、効率的な修繕を行います。

■点検と連動した速やかな施設修繕の実施



(エ) 施設賠償責任保険への加入

園内での万が一の事故に備え、当協会が管理する全ての都市公園において、施設賠償責任保険に加入します。

イ 主な施設の安全管理方策

施設名	安全管理の考え方
樹林地	○樹林の手入れが行き届いていない区域では、枯損木は枯枝の発生の可能性が高く重点的なパトロールエリアとする。 ○斜面の倒木の危険性がある高木をチェックし、定期的に状況を把握する。 ○危険な生物(スズメバチ等)の目撃情報の収集と早期発見に努めるとともに、被害予防、危険な生物と対処を学ぶ研修会を実施する。
遊具	○スタッフが月1回以上の安全点検を実施、目視・触診、打診等で確認する。 ○専門業者による定期点検を年1回実施、点検後は点検済のシールを貼付して安全性を明示する。 ○異常があった場合には利用を中止し、専門業者に精密点検や修理を依頼。 ○年1回、全公園のスタッフを対象とした遊具点検に関わる研修会を開催。 ○特にローラー滑り台、スプリング遊具、フワフワドームは、重点的な点検を行う。 ○利用する側でも安全な遊び方が認識できるよう、絵や図を取り入れた解説板を設置。
じゃぶじゃぶ池 (中ノ谷池上流側)	○安全、衛生的に水遊びができるよう、鋭利な物が水底にないか、滑る箇所がないか等点検を行うとともに、夏季には特に集中的に清掃を行う。
芹沢の池	○火災対策の刈込みを行う。
園路・階段	○丸太階段の横木や杭木の腐朽、ボルトの緩みなどを重点的に点検する。 ○スリップ防止のための大雨後、大雪後の清掃、除雪を速やかに実施する。

ウ 施設運営面での安全管理方策

施設の適切な安全管理に加え、運営面における安全管理方策の徹底により人的ハザードの排除に努めます。

(ア) 作業スタッフの安全確保

- ・労働安全衛生規則等の関係法令を遵守
- ・労働安全衛生や作業用機械の操作、薬剤の散布などに関する**職員研修の実施**や**OJT**による、安全意識の向上
- ・特殊な技術・資格等を要する作業については、専門業者に委託
- ・委託業者への安全指導、監督の徹底



協会本部主催による全公園
対象の安全衛生講習会

(イ) 利用者に対する安全確保

- ・遊具を始めとした施設の正しい利用を情報提供
- ・維持管理作業中の注意看板、立入防止柵などの設置
- ・多客時の草刈り機等の機械使った維持管理作業の抑制

(ウ) ボランティア活動における安全確保

- ・ボランティア活動中の行動内容を把握、連絡体制を明確化
- ・ボランティアを対象とした**安全確保のための研修実施**
- ・ボランティア保険加入の推進



注意看板設置や、制限をし
利用者安全を配慮した作業

(2) 防犯対策の実施体制について

ア 昼間の体制

○ 利用者との連絡体制

園内の掲示板など主要な場所に管理事務所の**連絡先を明示**し、不審者や事件などの情報の共有を行い、万が一事件等が発生した場合に備えた連絡体制を整えます。

○ 維持管理上の対策

- ・園路沿いや広場の周囲に、「死角となる場所」「暗い場所」「清潔感に欠ける場所」をつくら
ないよう、樹木の除伐や枝払い、こまめな清掃等を行い、景観面からの防犯対策を図りま
す。

○ 地域との連携体制

警察署や消防署、学校、地域の自治会との連絡を密に保つほか、地域の任意団体である地域
連絡協議会やおやじの会と調整し園内での防犯パトロールを継続して行ってもらうなどして、
「地域の目」が行き届く体制を維持します。

○ 年末年始の防犯体制

年末年始（12月29日～1月3日）については、委託する警備業者の巡回員が毎日12回、2
時間おきに園内を巡回し、防犯に努めます。

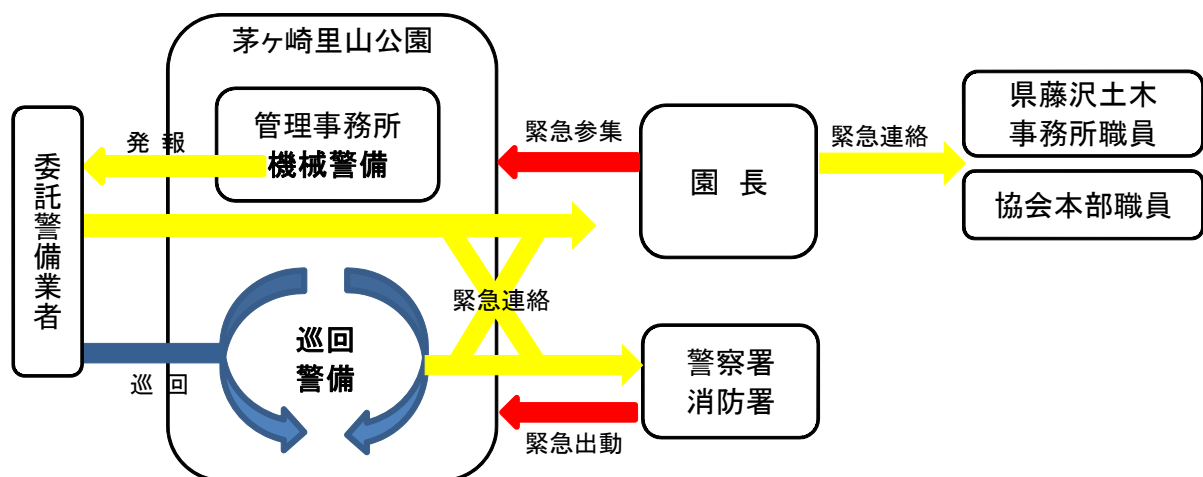
イ 夜間の体制

- パークセンター、東管理詰所、および谷の村拠点施設等には**機械警備装置**を設置し、勤務
時間外の建物警備を通年、警備業者に委託します。

- 園内巡回警備を警備業者に委託し、警備員2名による園内巡回を実施します。巡回中の非
常時には状況により園長へ緊急連絡を行うとともに、警察や消防への緊急車両を要請します。

- 巡回警備、機械警備の委託業者への指導、業務チェック体制を徹底するとともに、連絡体
制の徹底を図ります。

◆夜間警備体制



計画書9「利用者への対応」

○接客、苦情処理、利用指導、利用者ニーズの捉え方について

私たちは、公園ごとに特色ある都市公園を管理してきた経験と実績を踏まえ、来園者のみならず、これから訪れる利用者にも満足していただくため、公園に対する疑問や質問に応え、快適で楽しい利用を提案・サポートできる「パークコンシェルジュ」を目指します。

(1) 接客対応及び研修等について

ア 公園での出会いは、あたたかい真心こもった挨拶から

「いらっしゃいませ」という挨拶は、一方通行になりがちな挨拶です。私たちは、来園者とコミュニケーションをとることが重要と考えておりますので、会話のキャッチボールがしやすい「おはようございます」「こんにちは」など、温かい心からの挨拶をもって、来園者をお迎えします。

イ 利用者の目線で応えます

1人1人の利用者に対し関心を持ち、相手が何を求めているか、その人の目線に立ち接客を行います。利用者に関心を持つことで耳をかたむける、利用ニーズを的確に捉え、お応えすることができると思います。

ウ 公園管理事務所は‘公園インフォメーションセンター’

公園管理事務所は、公園のインフォメーションセンターとして位置づけ、来園者がいつでも立寄り、気軽に公園の情報を収集できる明るく快適な空間づくりを行います。

当公園への来園の有無にかかわらず「公園」に関心のある全ての利用者に対し公園の素晴らしさと情報を提供することが私たちの大切な使命と考えています。対面だけでなく、電話やメールでの対応にも爽やかさと真心をこめて接客します。

エ ‘改善’ に向け走り続けます

私たちは、これまで「親切で丁寧な接客」を目標に、

- ①朝礼での挨拶唱和
- ②内部研修等による公園及びその周辺情報の取得
- ③特別指導員による接客（CS）研修と接客対応評価指導

に取り組み、職員の意識向上を図ってきました。特に特別指導員の接客対応評価指導では、抜打ちチェックによる評価を受け、不適切な部分については真摯に受け止め改善し、職員の意識改革が進み効果が顕著に表れています。

これからも、接客向上プログラムを継続して実施し、常に‘改善’の姿勢を保ちます。

※パークコンシェルジュ

コンシェルジュ【concierje】とはフランス語で「重要な建物の門番」という意味。現在では主にホテルで宿泊客の求めに応じて、街の地理案内や交通機関・食事の予約などの手配をする係のことをいいます。

私たちはこの役割を公園での案内係として捉え、法的・道徳的に問題がない範囲で柔らかい心で利用者の相談に乗り、思い出作りのお手伝いをする利用者のパートナーでありたいと考え目標として位置づけました。

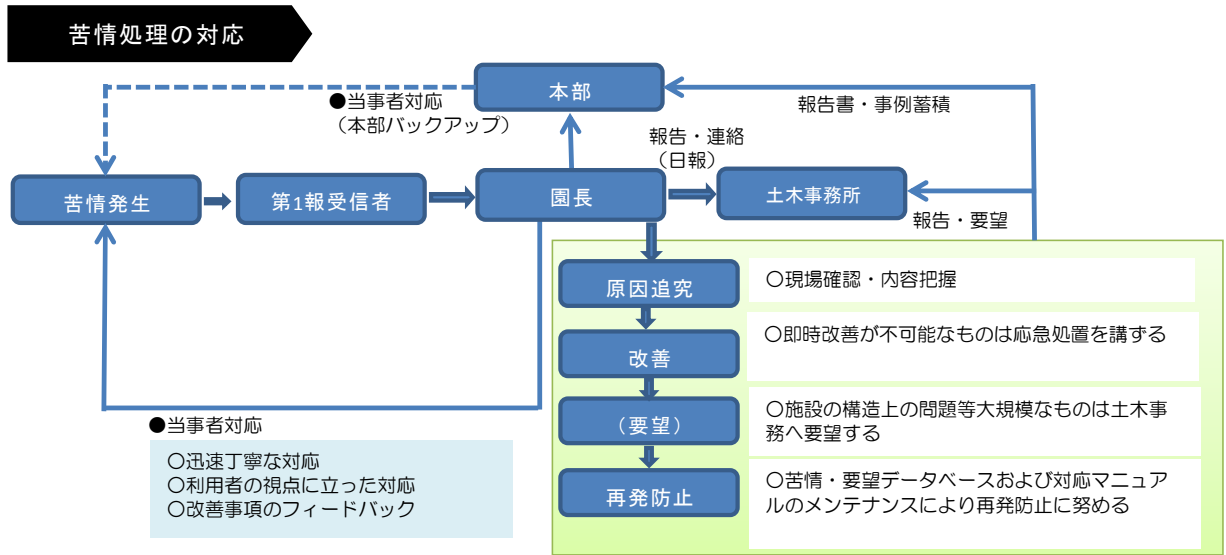
(2) 苦情処理の対応及びその研修等について

ア 苦情は貴重な情報源

不満を持った時に苦情を申し立てるのはごく一部の人に過ぎません。多くの方は黙って次回から当公園へ来なくなってしまうかもしれません。または、管理者に対して大きな不安と不満を抱えるでしょう。このようなことを回避するため、苦情は貴重な情報源であるとともに利用者の期待の現れであるという姿勢で、迅速かつ丁寧で適切な対応を実施します。

イ 柔らかい心で根気強く

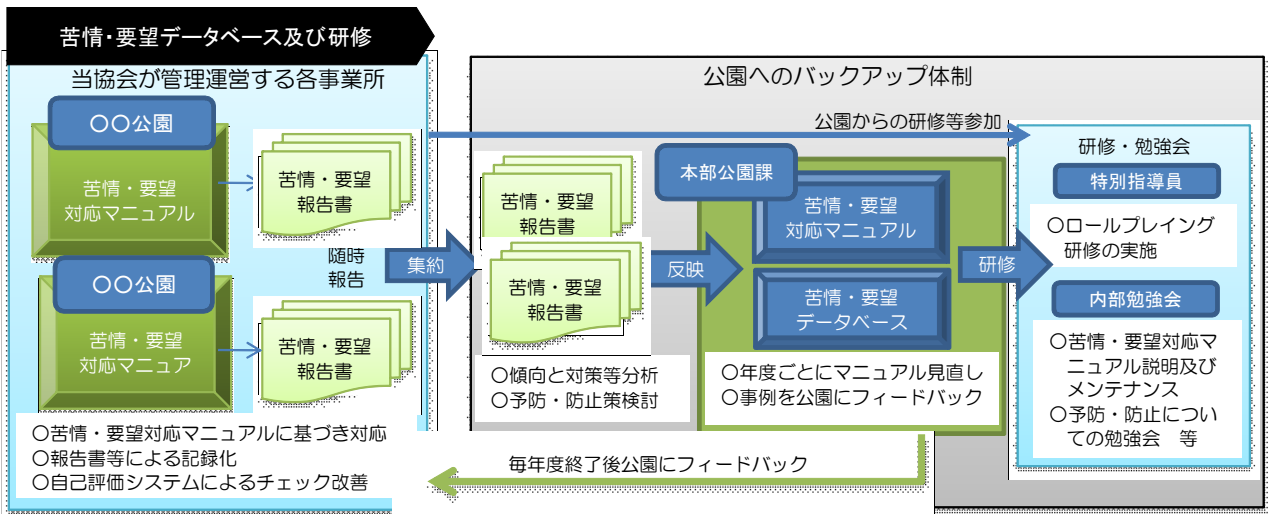
公園は不特定多数の方が利用するところであり、利用者の価値観も千差万別です。管理事務所には時には理不尽で不適切な苦情や要望も寄せられます。私たちは、そのような利用者に対し 柔らかい心をもって根気強く話合うことで、意見の根幹を探り道理を欠くことない解決に努めます。



ウ 情報源として活用するために

苦情・要望はしっかりと記録し、所管土木事務所へ報告します。また、報告書を本部で集約し、苦情・要望データベースとして、当協会が管理する各公園の事例を共有するシステムを構築します。このシステムは、情報の集約、マニュアルとデータベースへの反映を繰り返し、公園にフィードバックすることで苦情・要望対応マニュアルと事例集のメンテナンスを行います。

蓄積された情報をもとに、苦情対応のロールプレイング研修を実施し、常に柔らかい心で根気強い対応ができるよう訓練します。また、苦情・要望対応マニュアルの説明及びメンテナンスの重要性など他の公園の職員と合同勉強会を開催し、苦情予防・防止に努めます。



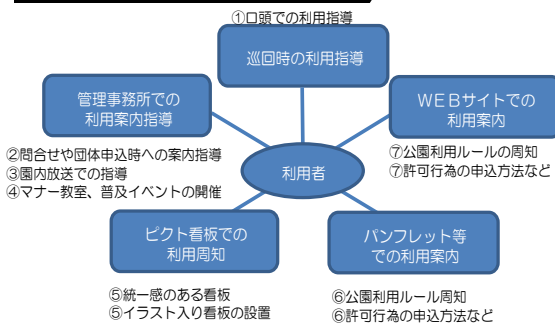
(3) 利用者への公園利用指導及びその研修について

ア 思いやりの心をもって、みんなで創る快適な公園

公園管理事務所に人員を配置することの大きな役割の一つが利用指導・案内と考えています。公共の空間である公園で、誰もが快適に楽しく過ごすためには、公平で公正な利用と他人を思いやる気持ちがとても大切です。

私たちは公園利用のルールを解りやすく伝え、1人1人の公園利用者が他人を思いやりみんなで快適な公園を創る重要性に対し、理解と協力・参加・賛同を求めます。

当協会が実施する利用指導の手段



利用指導と手法の例			
火気の使用、施設の破損・汚損	①②⑤⑥⑦	危険なスポーツ(スケートボード等)	①②⑤⑥⑦
オートバイ乗入等	①②③⑤⑥⑦	犬の散歩(糞・リード)	①②③④⑤⑥⑦
動植物の採取、利用制限区域	①②⑤⑥⑦	ゴミの持ち帰り	①②④⑤⑥⑦
無許可の占使用	①②⑤⑥⑦	遊具等施設の利用の仕方	①②④⑤⑥⑦

マナー違反者には遵守事項を十分説明し、自主的な解決を促す。
※数字は左図参照

茅ヶ崎里山公園での利用指導ポイント
里山保全エリアにおいて、利用制限区域の利用指導を的確・公平に行うとともに、外来魚等の放逐の禁止等について周知・徹底します。
雲のトランポリンや、夏季じゃぶじゃぶ池(中ノ谷池上流側)の安全利用のための注意事項等を周知徹底します。

イ 親切で丁寧な有料施設の受付案内

本公園の会議室・活動ルームを利用するときには申し込みが必要です。会議室の特徴や申し込み方法はパンフレットやWEBサイトでお知らせし、多くの皆様にお知らせします。また、窓口では常に親切で丁寧な受付案内を実施します。

ウ 公平で公正な利用を保つために

公平で公正な利用を保つには、利用指導をする職員同士が同じ目線で情報を共有し、利用者に対応しなければなりません。内部研修において都市公園条例第3条「行為の制限」及び第5条「行為の禁止」など公園を利用するに当たって必要な関係法令やルールを理解し習得するほか、ミーティングや他の公園との合同勉強会を通し、公平で公正な利用について事例と情報を共有します。

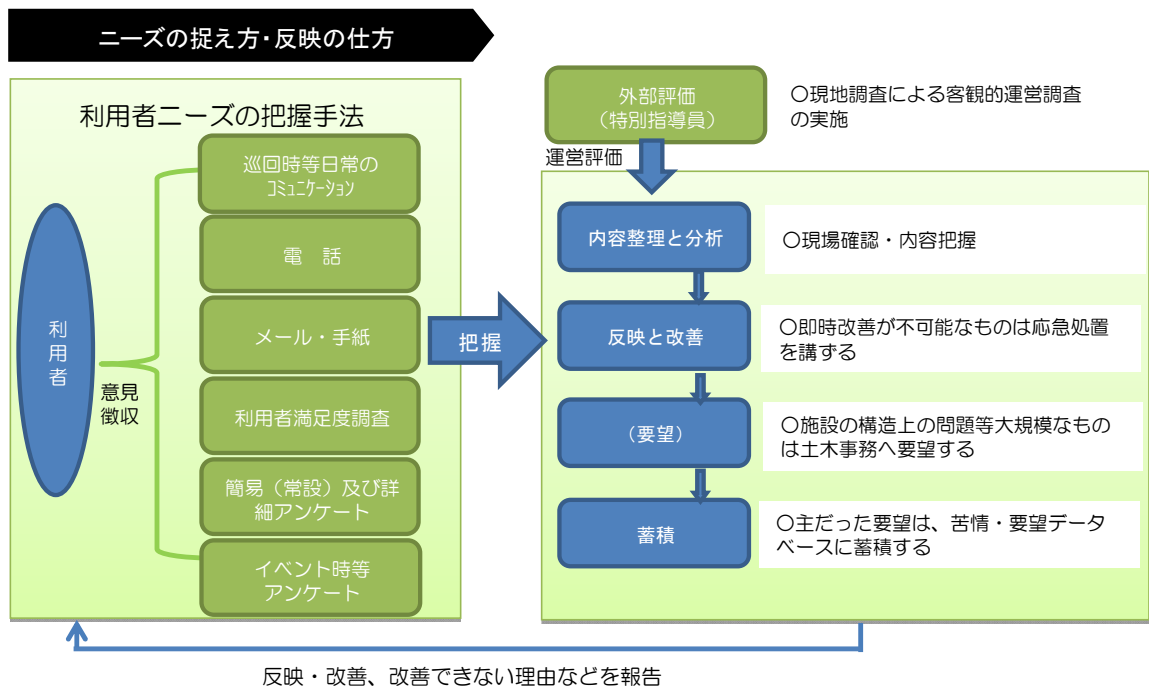
(4) 利用者ニーズの捉え方及び反映について

ア 利用者の満足度を高めるために

ニーズを把握・分析し、結果を管理運営に反映していくことは、利用者(顧客)満足度を高めるために重要です。日々のコミュニケーションや電話、手紙(メール)、アンケート等でいただいた利用者からの貴重なご意見は、反映と改善に努め、その結果を利用者へフィードバックします。

イ 外部評価によるニーズの把握

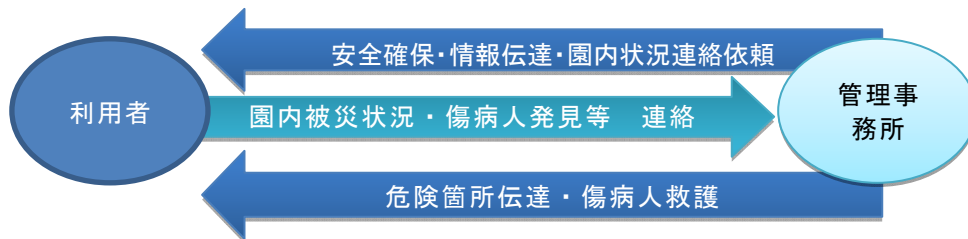
特別指導員による現地調査により、客観的に運営を評価してもらい、指摘事項や意見など評価結果は業務改善項目として整理しデータ化するとともに順次対応していきます。



(5) 災害時の活動及び利用についての説明及び広報について

ア 災害時が発生したら

管理事務所の開所時間に災害が発生したときには、来園者の安全確保と混乱回避を第一とし、放送や巡回（口頭）により正確な情報を提供するとともに、園内危険箇所や負傷者有無の情報提供を来園者に呼びかけます。



※災害発生時の連絡及び対応体制は「緊急時の体制（2）」に基づき実施します。

イ 安心への配慮

人は手を繋ぐことでストレスや不安が軽減されるといいます。私たちは、動揺が特に激しい利用者に対しては、なるべく「手を取り目を見て」話しかけることにより安心感を与えます。発災時は特に「ゆっくり・はっきり」とした落ち着いた口調で対応できるように職員に周知・訓練します。

ウ 苦情要望には優先順位をつけます

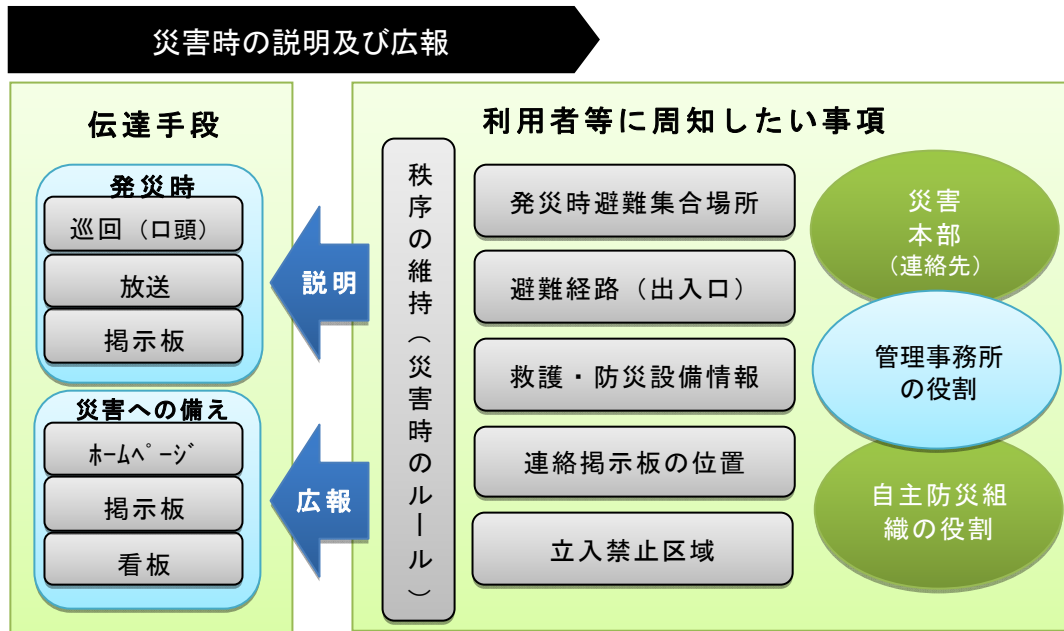
発災時は混乱が予想されるため、きめ細かに苦情要望に応えることができません。発災初期においては安全及び人命にかかわることを最優先とし対応します。そのような私たちの活動（行動）について、優先事項の明文化等により被災者（利用者）に理解と協力を求めます。

エ 利用についての周知

発災により園内施設の利用に制限（例えば、崩壊崩落等や救護施設の設置など）が発生することが予想されます。私たちは放送や巡回で周知するほか、園内図に制限箇所を明確に表し掲示するなど、伝え漏れが発生しないように努めます。

オ 災害への備えとしての広報

私たちは県土木事務所や茅ヶ崎市・小出地区自治会連合会などの自主防災組織と、災害直後・復旧時の園内利用や注意事項について協議調整し、ホームページや園内掲示版などの広報媒体を利用し周知することに努めます。



計画書 10「利用促進方策」

○当該公園が、より多くの人に利用されるための方策について

本公園は、芹沢の池、中ノ谷池、湘南の丘、平成の森とそれらを巡る表情豊かな園路、そして多様なレクリエーションや変化に富んだ景観を楽しむことができる公園です。この魅力をより多くの人に知ってもらい、利用してもらい、再訪してもらえる公園づくりを進めるとともに、地域の活性化につながる方策にも取り組みます。

(1) 利用促進のためのイベントの開催について (閑散期の園内施設の有効活用についても記載)

茅ヶ崎里山公園の利用促進では、次の3つの考え方を基本に、季節を通じた魅力的な企画を工夫・検討し、サービスの向上を図ります。

- 1 茅ヶ崎里山公園の特性を活かします
- 2 県民ニーズに応え地域を元気にします
- 3 四季を通じた楽しみを提案します

ア 本公園の利用促進事業の今後の取組み

私たちは、これまで、指定管理者として培ってきた信頼関係・経験・実績を財産として、茅ヶ崎里山公園の特性を活かし、地域と一体となって公園の利用促進を図ります。

平成 24 年度年間行事計画表 (既存エリア)

項目	月												備考	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
●直営イベント														
タケノコ堀	■	■												
どんど焼き														
クラフト教室														年間6回開催
かまど料理教室(谷の家)														
草木染め(谷の家)														
季節の飾り付け(谷の家)														
●地域との連携イベント														
春の公園まつり		■												
秋の公園まつり														
レインボーフェスティバル														茅ヶ崎市事務局
茅ヶ崎ジャンボリー2012														茅ヶ崎市観光協会主催音楽イベント
駅からハイキング														JR、小田急、相鉄等と連携
こいのぼり掲揚活動														
タケノコまつり														
七夕まつり														
夏祭り														8月の日曜日3回程度
たこあげ大会														
自然観察会														
県民持ち込みイベント各種														常時企画を募集
茅ヶ崎市との連携行事														自然観察会等

内容説明

●直営イベント等

- (1)タケノコ堀・・・竹林管理の一環として実施。
一般公募で選定した県民の方々にタケノコを掘り取ってもらう
- (2)どんど焼・・・かつて公園の敷地内で地元の方が行っていた行事を、里山文化の継承の一環として実施する。焚火で御団子を焼く。
- (3)クラフト教室・・・公園内で発生する自然素材（竹、木の実等）を使って工作をするプログラム。
竹の水鉄砲づくり、木の実でつくる干支飾り、竹のキャンドルづくり、三門松づくり、竹馬ぼっくり、竹の花びらづくりを予定。
- (4)谷の家プログラム・・・かまど料理教室（かまどを利用して七草粥づくりを体験）
草木染め（公園の刈り草等を利用した草木染め教室）
季節の飾りつけ（鯉のぼり飾り、七夕飾り、お正月飾り、雛飾り等）

●地域との連携イベント等

- (1)春、秋の公園まつり・・・茅ヶ崎里山公園地域連絡協議会、茅ヶ崎里山公園倶楽部、(公財)神奈川県公園協会の3者の実行委員会形式で実施。模擬店、演技発表、自然観察会、クラフト教室等を実施する。
- (2)レインボーフェスティバル・・・茅ヶ崎市が事務局となるイベント。市内の住民が中心となる実行委員会形式で行われ、模擬店、演芸発表会等が行われる。(公財)神奈川県公園協会も実行委員会のメンバーとして参加する。
- (3)茅ヶ崎市等との連携行事（主催者が県事務所へ許認可手続きで実施。）
・・・茅ヶ崎ジャンボリー（音楽祭、茅ヶ崎市観光協会主催）
自然観察会（主催、茅ヶ崎市環境政策課等）
畜産まつり（主催、茅ヶ崎市畜産課）（予定）
- (4)地域団体との連携行事・・・竹の子祭り、七夕祭り、夏祭り、凧揚げ大会
茅ヶ崎里山公園地域連絡協議会主催行事。季節にあわせた体験プログラムと模擬店等を行う。
- (5)駅からハイキング・・・JR 東日本、小田急電鉄、相模鉄道等と連携した本公園最寄り駅からのハイキングイベント。
- (6)県民持ち込みイベント・・・県民の方の企画を(公財)神奈川県公園協会がサポートしながら実施するイベント。
紙芝居、クラフト教室、音楽コンサート、母子交流会、公園風景絵画や写真展示等を開催。
次頁応募要領で年間を通じて実施。

平成24年度 茅ヶ崎里山公園倶楽部 年間活動予定表

平成24年度 茅ヶ崎里山公園倶楽部年間活動予定 [4月～9月]							
月	食	田んぼ班 10:00～(12:00)15:00	畑班 10:00～(12:00)15:00	雑木林班 10:00～(12:00)15:00	企画班 会員交流	事務局 市民交流	広報班 里山便り
上	◎	苗床耕作、田起こし、畦補修	畑の耕運	薪作り たけのこ汁準備	竹林整備		
4	中	◎ 苗床耕作、田起こし、畦補修	じゃがいも芽かき、追肥、中耕	たけのこ掘り(竹林整備)	片付け	夕ノ汁	
		苗床播種、田起こし、畦補修	さといも植え付け、小麦中耕、さつまいも畝作り	竹炭作り、竹炭品(～15:00)		里山案内	
			ネギ植え付け	竹林整備	竹炭品		
	◎		かぼちゃ苗植付、さつまいも畝作り	たけのこ汁準備	片付け	夕ノ汁	
上							
5	中	◎ 田起こし	さつまいも植付、じゃがいも追肥・中耕	道具整備、竹皮あつめ		里山の謎解き	春の公園祭り
				竹間伐、炭材作り、窯入れ(～15:00)			
			ささげ、ホップコン種まき、さといも追肥・中耕	ホダ場整備、本伏せ、竹間伐			
				薪作り	炭焼き		
	◎	代掻き(荒)・畦補修	小麦防鳥ネット張り、落花生種まき			しろかき隊(着替えを用意して下さい)	
		代掻き(仕上げ)・畦補修	ささげ支柱・間引き、さといも追肥・中耕	作業場整備、炭材づくり			●
上		◎ 苗取り・線引き			窯出し、窯入れ		
6	中	◎ 苗取り・田植		炭材づくり			
				雑木林東2・整備、薪作り(～15:00)			
			麦刈り・脱穀、たまねぎ収穫	竹皮集め(～15:00)	竹炭作り・竹炭品		
			さつまいも中耕、かぼちゃわら敷き	草取り(苗畑)	炭焼き	里山の生きものたち	
	◎	中耕・草取り、	じゃがいも収穫、ホップコン収穫	道具整備	窯出し・窯入れ		
上				炭材づくり(～15:00)	炭焼き		
7	中	◎ 草取り、水路補修	かぼちゃ収穫 とうみ作業(小麦)	草取り(苗畑)	窯出し・窯入れ		
			ネギ植え付け (とうみ作業)	間伐、炭材づくり	炭焼き		
				間伐、炭材づくり	窯出し・窯入れ		
			草取り[さつまいも、落花生、さといも他]	ソーメン流し準備			
上	◎	中耕・草取り、畦草刈		ソーメン流し			
8	中	◎	ササゲ、カボチャ、収穫	ソーメン流し	片付け	ソーメン流し	
		草取り・水路補修	サツマイ草取り・蔓返し、ササゲ、カボチャ収穫	薪づくり、草取り(苗畑)(～15:00)		水鉄砲を作る	
					炭焼き		
			大根畝作り、草刈、草取り				
		草取り、水路補修	大根種まき ホップコン収穫	薪作り、柿・栗保護対策		かかしコンテスト	●
上				苗畑整備(草取り・堆肥すきこみ)	窯出し、柿保護対策		
9	中	◎ 畦草刈、堆肥拵づくり	サツマイ草取り・蔓返し	作業場整備、道具整備	炭材作り		
				薪作り、炭材作り	炭焼き、真竹林整備		
	◎	ハサ掛け製作	大根間引き(2本立て)、畑の整備	竹炭品	窯出し・窯入れ		
下							
平成24年度 茅ヶ崎里山公園倶楽部年間活動予定 [10月～3月]							
月	食	田んぼ班 10:00～(12:00)15:00	畑班 10:00～(12:00)15:00	雑木林班 10:00～(12:00)15:00	企画班 会員交流	事務局 市民交流	広報班 会報
上	◎	稲刈り・ハサ掛け		竹間伐、炭材作り			
10	中	◎ 田んぼ整備・灌水	大根間引き、堆肥、中耕	平成の森整備、どんぐり拾い・ホップ苗づくり・植付			
		◎	落花生収穫	竹間伐、炭材づくり、穂垣づくり			
		脱穀準備		炭材作り	竹炭品、窯入れ		
		脱穀・ハサ掛け片付け		炭材作り	薪作り	草木染め	
上				薪作り	炭焼き#10		
11	中	◎	さつまいも収穫、大根中耕・玉ねぎ畝作り	竹炭作り、落ち葉掻き	窯入れ・窯出し、薪作り	ノーチャークラフト	
		◎	玉ねぎ苗植付・小麦用堆肥敷き・落ち葉かき	竹炭品(300個)	炭焼き、炭材作り		
	◎		さつまいも収穫(秋の公園祭り用)、さといも収穫	薪作り	窯出し	焼きいも	
				薪づくり、落ち葉掻き	竹炭品		
			落ち葉掻き	薪づくり、作業場・道具整備	炭材づくり		秋の公園祭り
上	◎		小麦畝作り・種まき、大根収穫、落ち葉かき				●
12	中		玉ねぎ草取り・ワラ敷き、堆肥切り返し	薪作り、原木伐倒(～15:00)			
		◎	大根収穫		大掃除	感謝祭	
1					落ち葉かき		
	◎		畑 鋤おこし	原木切り出し、竹間伐(～15:00)	炭材作り	お花炭 赤飯	
2			麦踏み	落ち葉かき、除伐(雑木林東1.2)		バームクーヘン	
			畑 鋤おこし	雑草苗植付・仮伏せ、薪作り(～15:00)			
			じゃがいも植付け				●
3				竹林密度調査、たけのこ保護	窯入れ		
	◎		小麦中耕	作業場整備、道具整備		草だんご	

おもな利用促進事業のイメージ

○公園まつり



○パークセンター多目的ホールにおける展示



○里山クラフト教室



○自然観察会



イ 利用促進のための展開

■「木や竹のおもちゃ」遊びコーナーの開設●

子どもの集客と里山ファンの裾野拡大

里山管理の発生材を活用した遊び道具の提供は、これまでも行ってきました。イベント時に、手作りの竹馬をパークセンター前に出すと、隣接する大型遊具に集まる親子連れの多くが興味を示し、遊び始め賑わい、その集客力は絶大でした。



今後は、常時提供を目指し、体制を整えます。また、本公園の製材木を活用し、園内の発生材を材料とした、木のおもちゃも作ります。これらの「木や竹のおもちゃ」で遊べる場として、平成 20 年度に、オープンした谷の家も活用します。

■パークセンターの利用者サービス向上●●

里山に係わる人々の利用促進

パークセンターの多目的ホールでは、園内の自然情報の手作り展示、図書コーナー、昔遊びコーナーなどを開設、会議室等では市民団体等による円滑利用を進めてきました。



今後は、パークセンターでの県民共催の展示、イベントの充実、事務室での「自然観察セットの貸し出し」、活動ルームでのコピーサービス提供等を行い、人と情報の交流をさらに促進していきます。

また平成 23 年度から実施している周辺市町である藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の各観光協会と連携した情報提供スペースを活用し、来園者の皆様に楽しい情報提供を行います。

■県民提案イベント開催の積極支援*●●

多様なイベントによる集客

私たちは、「茅ヶ崎里山公園地域連絡協議会」「茅ヶ崎里山公園倶楽部」ほかのボランティア団体と共催して、数多くのイベントを実施してきました。特に「パークセンターオープニング記念イベント（平成 19 年度）」では、地域の小学校、大学のクラブ、市民バンド等による多彩なステージをコーディネートし出演者・来園者ともに大いに盛り上がりました。



今後は、平成 20 年度に制定した「茅ヶ崎里山公園持ち込みイベント実施要領」に基づき、市民提案のイベントの開催に、さらに積極的に取り組みます。

■ヒガンバナの管理のボランティアとの連携協力●●

地域一帯での花の名所づくり

ヒガンバナは、県民参加で選ばれた茅ヶ崎里山公園の花です。また、本公園に隣接する芹沢地区の「小出川沿い彼岸花」は、花の名所として知名度を上げています。ここで、ヒガンバナの管理を行う「せりざわ彼岸花の会」との連携を強め、相互に案内板を設置したり、パークセンターで「小出川沿いの彼岸花」の積極的 PR をするほか、会の活動の便宜を図ります。



■ウォーキングイベントの開催●

徒歩による来園者の拡大

平成 18 年度は湘南台駅から、平成 19 年度は香川・寒川駅から本公園までのウォーキングマップを作成して、徒歩利用で公園とつながるきっかけを地域に提供したところ、多くの好評の声を頂いています。



今年度も、23 年度に引き続き、このマップを活用したウォーキングイベントを開催することで、周辺地域一体の活性化と、徒歩による来園者の拡大を図ります。また本イベント開催にあたり、小田急電鉄、JR 東日本等の鉄道各社と連携し、より集客力のある方式で実施します。

■ レンタサイクルの実施（平成 23 年度～） ●

地域連携及び公園PR

パークセンターに電動アシスト付き自転車を導入し、豊かな里山の雰囲気に残る公園周辺を来園者の方に楽しんでいただく。公園周辺の魅力も含め、地域といっしょに発展していく公園を目指します。自転車貸し出し時に、周辺見どころマップも活用していただきます。より楽しいサイクリングができるよう情報マップの更新を行っていきます。

平成 23 年度（7～3 月）は約 150 名の利用者がありました。徐々に人数は増えている傾向にありますが、それ程多いともいえない状況と考え、平成 24 年度も同様な形で継続実施し、状況を見ていくこととします。

■ 畑の村エリアの利用促進活動（平成 24 年度～） ●

地域連携及び公園PR

平成 24 年度に開園する畑の村エリアは、食と農を通じた地域活性化をテーマとした施設です。開園初年ということと、これまでこのエリアに人の行き来があまり無かったことから、平成 24 年度は、このエリアの一般への周知の期間と考え、イベントを通じて施設の PR を行っていくこととします。

具体的には、郷土的料理教室、太陽光等を利用したエコクッキング等の体験型料理教室の開催、展示コーナーにて郷土的料理の紹介や公園周辺の農業関係資料の展示、施設整備の状況にあわせて関連イベントの誘致（ヒガンバナ祭、畜産祭り等）、畑ではコスモスや菜の花等を生育させる景観畑として、集客を図っていきます。

具体的な内容については、下記資料を参照してください。

管理運営のテーマ	
●	里山環境づくり
●	いっしょにつくる
●	豊かなパークライフ

※ 閑散期の園内施設の有効活用について

- ① 県民提案イベントの開催は、閑散期（夏・冬）に重点を置き、実施します。
- ② 冬季は、パークセンターのチップボイラーやペレットストーブを積極稼働して居心地の良い環境を提供するとともに、バイオマス活用状況を公式ホームページその他により、積極的にPRし、多くの来園者に、施設を有効活用していただきます。

資料

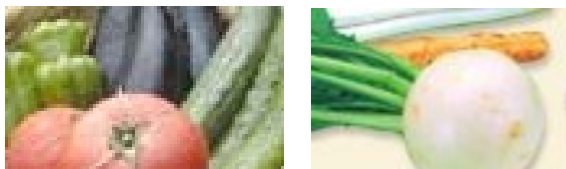
■畑の村エリアの利用促進事業内容

1 食と農と文化を育む利用促進活動

(1)食材づくり（野菜づくり）農体験活動

畑の村エリアの畑で野菜づくりを通じて栽培、管理、収穫、調理の流れを体験できる教室を開催します。地元農家の方等を講師に招き、一般参加者との交流も図りつつ、教室を進めていきます。必要に応じて下記のプログラムにも食材を活用する等、食と農文化の普及に努めます。

- ・夏野菜（トマト、キュウリ、ナス等）づくりと夏野菜のスープ、ピザづくり
- ・冬野菜（大根、白菜、ニンジン、カブ等）づくりと漬物づくり



(2)地元の郷土料理教室の開催

地元の農家の方等を講師に招き、地元の野菜等の食材を用い、漬物づくり教室、味噌づくり教室、芹沢のお正月料理づくり教室等を開催し、茅ヶ崎市の農村文化の伝承と公園来園者の交流の促進を図ります。



味噌づくりイメージ

漬物づくりイメージ

お正月料理イメージ

(3)エコクッキング教室の開催

茅ヶ崎里山公園は環境共生型パークセンターや伝統的な農業をベースとした市民里山保全活動等、環境に配慮した各種施設や取り組みを行っています。畑の村拠点施設においても、バイオマス燃料を利用したペレットクッカー（ペレットを燃料とする調理台）が設置されるなど、里山を通じた資源循環型の設備を有しています。これらの特徴を活かし、食を通じて楽しく環境教育活動ができるクッキング教室を開催し、多くの方に自然とともに暮らす大切さを広めていく活動を展開します。

具体的なプログラムとして

- ・ペレットクッカー、薪焼窯を用いたパンづくり、ピザ作り、スープ作り
- バイオマスの活用と里山林との関わりを学びながらの料理教室



ペレットクッカーによる調理イメージ

パン作りイメージ

ピザ作りイメージ

・ソーラーッキング教室

太陽光の力で調理できるソーラークッカー、ソーラーオーブンを使い、地元の食材等を活用した料理教室。太陽光の力と自然エネルギーの活用の勉強を夏休み等に小学生等を対象に実施します。



ソーラークッカー（工房あまね HP より）

(4)畑の村拠点施設調理室の一般県民への貸し出し

景色の良い里山に囲まれた畑の村拠点施設では、多くの仲間と料理をすることのできる調理室が完備されています。里山を体いっぱいを感じながら、気の合う仲間や地域の青少年育成団体等その調理室を使っていたいただき、交流や食を通じた地域文化の醸成を推進していきます。

具体的には、調理室貸し出し要領の作成、貸し出し用調理器具、食器等の用意、また多目的の休憩スペースにおいては木目調等の施設の雰囲気合うテーブル、椅子を用意する。



多目的スペーステーブル等イメージ



食器類イメージ

(5)食と農文化の展示コーナーの設置

野菜づくりの活動、郷土料理教室、エコッキング教室等のプログラムを文化的、環境教育的等にまとめ地域や手法を解説していくとともに、利用促進にもつなげる展示の展開を図ります。

具体的には

- ・芹沢の漬物の作り方（レシピ紹介、指導者紹介及び生活文化の紹介）
- ・茅ヶ崎等のお正月料理の特徴
- ・エコッキングの仕組み、自然エネルギーの仕組みと公園での利用、将来について
等



展示イメージ

2 魅力ある里山景観の創出とイベント誘致活動

(1) 大面積の畑を活用した景観花畑の展開

畑の村エリア谷側に整備される畑を活用して、夏から秋にかけてコスモス花畑を展開し、見応えのある景観を創出することにより、本エリアの PR を行っていく。また、来春に向けては菜の花景観畑を展開するための準備を行っていく。

PR については、積極的にメディアを活用し、集客を図ることとする。



コスモス畑イメージ



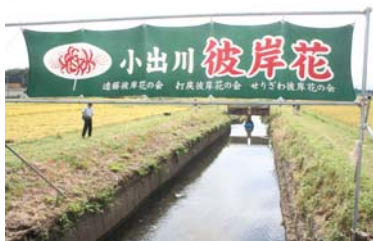
菜の花畑イメージ

(2) 花景観畑を活用した自主イベントと地域行事等との連携

景観花畑を活用してそれ自体で集客を図るとともに、花に関する自主イベントの実施や地域イベントとの連携を図り、PR の相乗効果を図っていきます。

具体的な事業は

- ・ 景観花（コスモス）の摘み取り体験イベントの実施と、小出川ハガバナ祭りの会場誘致活動の取り組みを行います
- ・ 茅ヶ崎市主催の「畜産まつり」や音楽イベントの誘致を積極的に行い、新たな開催場所として認知される基盤づくりを進めていきます。



小出川とハガバナ



畜産祭り

(3) 果樹園の活用による里山体験活動

畑の村エリアに整備される果樹園を管理し、そこで収穫される果実を活用して摘み取り体験、加工体験等の体験プログラムを行います。

具体的には、ブルーベリー等の手づくりジャムづくりとパンづくり、手づくり干し柿づくりを展開します



ジャムづくりイメージ



干し柿づくりイメージ

(4) 地元野菜作り市民団体等の野菜市の誘致連携

これまで地元市民団体である「芹沢ヒガンバナの会」と茅ヶ崎市役所産業振興課等と連携した公園内での野菜市を実施してきました。畑の村においても拠点施設等において、野菜市開催のための調整を図り、エリアの集客を図るとともに、今後の本エリアの市民協働での管理運営の基盤づくりを進めていきます。



野菜市実施イメージ

3 畑の村エリアの市民参加型管理運営展開への基盤づくり

前述の体験教室やイベントの誘致、各種団体等と連携等を行うことにより、指定管理者として、さまざまな地元の関係者や県民の方と交流を図ることができます。これら関係を気付いた方々をベースとして、平成 24 年度設立予定の茅ヶ崎里山公園管理運営会議と連動させ、本エリアの市民協働による管理運営の仕組みについて意見交換を行い、具体的な手法を探っていきます。

■畑の村エリア利用促進事業実施スケジュール

■畑の村エリアにおける利用促進事業実施スケジュール														
実施項目	実施内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
●食と農と文化を育む利用促進活動														
野菜づくり農体験活動	地元農家の方を講師に招き、畑作りから収穫、食加工までの一貫した体験をロングランで実施する		プログラム企画	実施準備 募集等	プログラム実施 夏編	プログラム実施 冬編				プログラム実施 冬編				夏野菜プログラム 冬野菜プログラムを実施
郷土料理教室	地元農家の方を講師に招き、味噌づくり、漬物作り等を行う								味噌づくり教室		お正月料理教室	漬物作り教室		
エコクッキング教室	自然エネルギーを使用した調理器具を使った料理教室を行うとともに、環境教育活動も行う					ソーラークッキング教室		ベレットイッ カー料理教室						
畑の村拠点施設調理室貸し出し	調理室貸し出し要領の作成とPP及び出し出し用調理器具などの整備			調理室貸し出し要領作成					調理室の貸し出し					
食と農文化に関する展示コーナーの設置	畑の村拠点施設での活動プログラム関連の展示や、地元農文化の展示を展開する。			展示内容、 資料準備	資料収集				展示パネル作成、 展示					
●魅力ある里山景観の創出とイベント誘致活動														
景観花畑の育成	夏から秋に向けたコスモス畑の整備 来春に向けた菜の花畑の整備		畑の耕耘等	関係団体等との誘致調整の実施	コスモス畑 まき	コスモス畑 花つみイベント実施	コスモス畑 花つみイベント実施		畑の耕耘等	畑の耕耘等	菜の花種まき			菜の花は4～5月開花
地域イベント等の誘致活動	小出ヒガンバナ祭り、茅ヶ崎市畜産祭り等のイベントの会場として、畑の村エリアで連携をとるための調整活動の実施			関係団体等との誘致調整の実施					関係団体と 現地視察 会の実施					
果樹園の管理と収穫物の活用活動	果樹園の管理を行うとともに、秀歌うべんなどを行う									ジャム作り 教室の開催				果樹園のメンテナンスは年間を通じて実施する
地元野菜市の誘致活動	地元野菜作り等市民団体の誘致活動及び今後の展開のための意見交換を進める			関係団体等との誘致調整の実施										整備状況、エリアの集客状況により変化する
●畑の村エリアの市民参加型管理運営展開への基盤づくり														
関係団体等との意見交換の実施	アンケートや会合等において、関係者との意見交換を行い、将来的な畑の村運営について市民協働の可能性について検討を行っていく。													アンケート、意見交換会等の実施

資料一 県民持込イベントの実施要領

茅ヶ崎里山公園 持ち込みイベントの募集

茅ヶ崎里山公園では、みなさまの企画した行事を随時募集しております。
公園を舞台として、あなたの特技を活かして多くの方と楽しんでみませんか。
ご応募お待ちしております。

※上記の写真は、これまで実施した行事等様子の一部です。

詳しくは、ウラ面もしくは茅ヶ崎里山公園のホームページをご覧ください。
また下記電話もしくは、窓口にお越しください。

財団法人神奈川公園協会 茅ヶ崎里山公園管理事務所
住所：茅ヶ崎市芹沢 1030 / 電話：0467-50-6058
ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/satoyai>

持ち込みイベントの募集について

県立茅ヶ崎里山公園では、みなさまが企画・実施できるイベントや展示会を募集しています。公園を舞台として、実施する方も参加する方も楽しめるイベントを行い、親しみのある公園づくりを進めていきたいと考えています。

応募資格

- ・神奈川県内に在住、在勤の団体又は個人
- ・責任者は、高校生以上でイベントを確実に実施できること
- ・政治、宗教、営利を目的としていないこと
- ・公序良俗に反する行為をしないこと
- ・反社会的な団体や暴力団構成員でないこと



実施条件

- ・公園の性格・性質にあったイベント内容であること
- ・イベントの準備・実施・後片付けは応募者が行なうこと
- ・危険を伴う（と思われる）イベントでないこと
- ・イベントにかかる経費は、応募者が負担すること

募集、審査等

- ・募集期間は毎年とし、イベント開催日の原則3ヶ月前までに相談して下さい
- ・応募する場合はまず窓口もしくは、お電話でご相談ください
- ・イベント内容や、場所日時によってはお断りする場合もあります

役割分担

- (1) 公園協会
 - ・広報：公園のホームページ、園内にポスター掲示、園内放送、新聞社等への情報提供
 - ・場所日時の調整：公園行事や他団体及び県（事務所）との調整
 - ・機材の貸出：公園が持っている諸機材の無償貸出
- (2) 応募者
 - ・企画：ポスター作成、イベントの企画運営等
 - ・設定：持参機材や公園借用機材の運搬、会場設営、後片付け等



問い合わせ先は
 (財) 神奈川公園協会 茅ヶ崎里山公園 パークセンター
 住所 〒253-0008 茅ヶ崎市芹沢 1030
 TEL 0467-50-6058 FAX 0467-50-6358

(2) 利用促進のための広報について

茅ヶ崎里山公園を知らない人には、公園の紹介等概要を、また 再訪のきっかけとなる季節毎の見頃見どころなどを広報します。

茅ヶ崎里山公園の利用促進に向けて私たちが伝えたいこと

茅ヶ崎里山公園の存在と
季節ごとの見頃と見所

公園の魅力への理解を
さらに深める情報

平成18年度より指定管理者として従事してきた私たちは、公益法人として追求してきた「公益性の実現」という得意領域を活かして公園広報に努めます。

ア 近隣エリアへの広報

茅ヶ崎市ほか周辺市民、地元自治会、小中学校等近隣の人々と、「わたしたちの公園」として親交を深め、信頼関係を築きます。

イ 広域エリアへの広報

神奈川県民、各種団体、各県立公園利用者に、茅ヶ崎里山公園へ

訪ねてみたいという気持ちを抱かせます

これまでの成果を継承しながら茅ヶ崎里山公園の具体的な広報には次のように取り組みます。

茅ヶ崎里山公園の広報手段 * 各種主体へは、私たちが情報を提供して掲載を依頼していきます

広報媒体	主体	対象	方針
案内チラシ	各町会、各小中学校	地域住民	町会便り、学校便り等に茅ヶ崎里山公園でのイベントや見所情報を掲載いただけるように依頼していきます。
行政広報	茅ヶ崎市 藤沢市	茅ヶ崎市民 藤沢市民	これまでたびたび情報を掲載いただいた茅ヶ崎市との関係を継続しながら、隣接の藤沢市にも掲載いただけるように働きかけていきます。
行政広報	神奈川県	神奈川県民	春の美しさやハイキングでの利用案内などの掲載を働きかけていきます。
パンフレット	指定管理者	広域市民	公園紹介パンフレットを作成して、県内各所の都市公園や公共施設を通じて茅ヶ崎里山公園の存在と営みを伝えていきます
企画広告等	各観光協会、交通機関等	広域市民	茅ヶ崎市観光協会やかながわ中央バスの協力を仰いで、公園の紹介ポスターの掲載を働きかけていきます。
ホームページ	指定管理者	社会全般	今後も、ホームページのタイムリーな更新を図り、季節ごとの公園の魅力を発信していきます。
ホームページ	神奈川県	社会全般	県立の施設としての基本情報を掲載して利用を促すと共に、指定管理者のホームページへのリンクによってタイムリーな情報提供をしていきます
メディア	報道各社	社会全般	神奈川テレビや神奈川新聞などのマスメディアへは、祭りや季節ごとの見ごろなど、公園の魅力情報の掲載を働きかけていきます。
茅ヶ崎里山公園 倶楽部会報	指定管理者	広域市民	会報は、会員のほか、周辺の公的機関などへ配布し、本公園の市民協働による里山保全活動を広くPRします。
園内掲示	指定管理者	来園者	公園の特徴や季節ごとの見どころを直接わかりやすく伝えていきます。

計画書 11 「地域や関係機関との連携」

○当該公園の管理運営に当たり、地域や団体、関係機関との連携の考え方について

かつての里山を人が育んできたように 茅ヶ崎里山公園では、様々な担い手の力をつなぎ、活かします

(1) 県民及び住民参加、ボランティア団体による協働の取組みについて

公益法人である私たちは、高い社会的な信頼性をもって、県民及び周辺住民そして公園で活動するボランティア団体等の方々と常に公正・公平で平等を基本とした信頼関係を築いてきました。

茅ヶ崎里山公園では、これからも積極的に協働による公園づくりを推進して円滑で意義の深い県民サービスの向上に取り組みます。

特に、茅ヶ崎里山公園倶楽部に関しては、平成 17 年の設立当初から同倶楽部の事務局を務め、連携体制の構築と、増え続ける会員（平成 23 年度現在 1000 名超）をサポートする事務体制の向上に、常に改善し取り組み続けてきました。



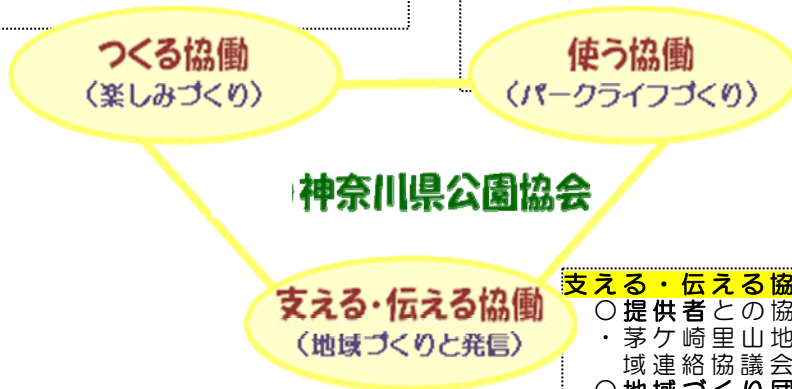
今後も同様に倶楽部との相互信頼を継続しながら、その他の関係団体等も含めて参加型公園づくりを進めます。

つくる協働（楽しみづくり）

- 記念庭園の手入れ
 - ・グリーン・サム
- 里山保全の協働
 - ・茅ヶ崎里山公園倶楽部
- クラフトの協働
 - ・クラフトが特技の方々
- 食の協働（オリジナル弁当等）
 - ・（社福）ライフ湘南

使う協働（パークライフづくり）

- 公園活用全般の協働
 - ・茅ヶ崎里山公園倶楽部
- 環境学習の協働
 - ・柳谷の自然に学ぶ会、茅ヶ崎市野外自然史博物館、小出小学校ほか小中学校等
- 生涯学習の協働
 - ・茅ヶ崎市体育協会、地域の歴史に詳しい人
- 社会福祉の協働
 - ・茅ヶ崎市社会福祉協議会
- 表現活動の協働（持込みイベント等）
 - ・写真愛好グループ、音楽愛好グループ ほか
- 社会貢献の協働
 - ・茅ヶ崎里山学生ボランティア、湘南工科大学社会貢献支援室、文教大学



支える・伝える協働（地域づくりと発信）

- 提供者との協働
 - ・茅ヶ崎里山地権者の会、茅ヶ崎里山公園地域連絡協議会
- 地域づくり団体との協働
 - ・小出地区自治会連合会、小出地区青少年育成推進協議会、おやじの会
- 地域発信者との協働
 - ・茅ヶ崎市広報担当課、ミニコミ誌発行団体
- メディアとの協働
 - ・神奈川新聞、神奈川 TV、報道各社
- 保安担当との協働
 - ・神奈川県警、茅ヶ崎消防署

指定管理者として私たちは、

誰もが楽しく利用しいろいろな活動のできる公園づくりを協働によって推進していくために、

「茅ヶ崎里山公園運営会議」の立ち上げを目指し

管理運営、施設整備や利用のあり方について協議し具体的な活動に展開していきます。

【平成24年度の実施内容】

●茅ヶ崎里山公園運営会議の運営

私ども神奈川県公園協会の本事業計画書に基づき、過去に開催された茅ヶ崎里山公園協議会の構成員の中から、ご協力いただける方に参加していただき、運営会議を立ち上げ、茅ヶ崎里山公園の年次報告等を行い、ご意見をいただきます。

茅ヶ崎里山公園運営会議の運営について

- ・メンバーの予定は、平成20年度茅ヶ崎里山公園協議会参加団体をベースとします。
- ・議長、事務局を（公財）神奈川県公園協会が担います。
- ・必要に応じて、分科会（例えば、里山保全部会、畑の村管理運営部会等）を設け、各テーマについて議論を深めていきます。



■茅ヶ崎里山公園運営会議予定団体

小出地区自治会連合会
小出地区青少年育成推進協議会
里山保全ボランティア 風の里
茅ヶ崎里山公園地権者会
茅ヶ崎里山公園地域連絡協議会
茅ヶ崎市体育協会
茅ヶ崎市体育指導委員協議会
茅ヶ崎野外自然史博物館
柳谷の自然に学ぶ会
小出小学校
茅ヶ崎里山公園倶楽部
茅ヶ崎市
神奈川県 藤沢土木事務所

(2) 地域への貢献についてのこれまでの実績又は提案について

「地域や関係機関との連携」を最重要テーマとして私たちは、次の2点に留意して県民サービスの向上につながる公園づくりに努めてきました。

- ① 公園計画地の持つポテンシャルと展開の可能性の検討
- ② 地域ならびに県民が公園づくりに寄せる想いの把握

ア 公園の存在を伝え活用してもらいやすくするための実績と将来提案

実績

- ・ 駅からのウォーキングマップの作成と配布
- ・ パークセンターの展示活用

将来提案

- ・ 谷の村拠点の管理運営方針の検討
- ・ 谷戸の生態修復と管理運営方針の検討
- ・ 里山保全ゾーンの利用ルールの検討

イ 地域の交流と活性化に向けて取り組んできた実績と将来提案

実績

- ・ 茅ヶ崎里山公園まつりの企画開催（参加人数：約 20,000 人）
- ・ 季節を楽しむイベントの協働企画開催（鯉のぼり、夏まつり、凧上げ、どんど焼き）
- ・ 自然観察会の協働開催
- ・ 体験教室（年間を通じた開催）
- ・ レインボーフェスティバルの開催支援（主催：レインボーフェスティバル実行委員会）
- ・ 畜産まつりの開催支援（主催：茅ヶ崎市）
- ・ 茅ヶ崎里山公園倶楽部活動支援（事務局としての支援）

【平成 24 年度実施内容】

- ・ 上記実績の取り組みの継続
- ・ 駅から公園のウォーキングマップの配布及びハイキングイベントの実施
- ・ パークセンター・谷の家、畑の村拠点施設の展示活用
- ・ 「茅ヶ崎里山公園運営会議」の運営
- ・ 茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町の各観光協会情報コーナーの活用
- ・ レンタサイクルサービスをパークセンターにて実施し、周辺地域の PR も行う。
- ・ 畑の村エリアにおいて、地元農家の方等と連携した食と農と文化を通じた各種体験教室等を実施する。

茅ヶ崎里山公園でのさまざまな活動の活性化こそが
「公の施設」として果たしうる「地域への貢献」であると考えています。

私たちは、これまで構築してきた信頼性を礎として
茅ヶ崎里山公園が果たしうる公益性を最大に発揮できるように努めて参ります。

(3) 関係機関（対象管内の他の公園や周辺施設等）との連携の考え方について

私たちはこれまで、前述のとおりさまざまな関係機関と連携を取りながら、公園管理運営をおこなってきました。今後も引き続き、高い公益の実現に向けて各種機関との連携を模索していきます。

ア 公的な機関、公益機関との連携強化

各公的な機関の組織目標に照らして県民の福祉の向上に貢献しうる連携を模索します

- 茅ヶ崎市内の公園緑地の管理運営企画との連携を図り県民サービスの向上を模索します
- 高齢者福祉施設、障害者福祉施設等との連携を図り豊かな県民生活の実現に貢献することのできる連携を模索します

イ 民間企業との連携強化

「みどり」を通じた地域活性化、社会貢献をともに歩む」という考えを共有できる企業等との連携を模索します

- 民間企業等による CSR（企業の社会的責任）事業との連携による管理運営支援体制を模索します
- 身近な交通機関である小田急電鉄、神奈川中央バスとの連携により周知を図り利用者増を模索します